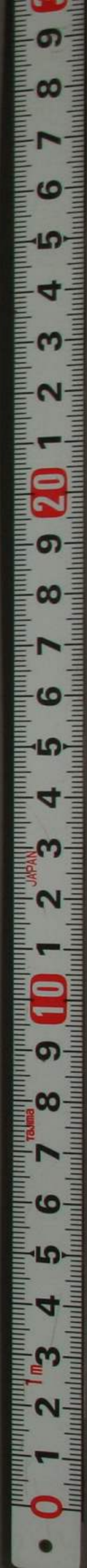


令義解考

73

6377



73
6877



大政官符

大政官符 大政官符記 者誤愚按 第二行當有大政
令義解序目 當為大政官符記 者誤愚按 第二行當有大政

官符四字 而存令義序目 四字亦通
符自上曰符解 自下曰解外 古者從五在以下有內外朝外異內

國造上脫 額田二字 額田參河國 有郡令足居 處之

國造 職原妙為 國司非國造 國神日造 營スルノ職之故 和

ミヤツクリヲ畧シテミヤツコト云古者 國司國造郡司
アリ日本記 天武天皇見タリ 聖德太子十七ヶ條ケンホ

フ云々解有リ 解ト云國ヲ一解ト云 寮ヲ一解ト云 今改
元ノ寸國解ト云アリコレナリ

藤原都文武帝 契和國藤原アノ耳ノ訓之耳ヲ十二ノ訓
ト云ハ秘洲之

去五味均平蔵



律 今不傳法曹至要抄淡海公着此書中纔有律

朝臣アソシニア吾之ソコハ添ワ取ラレハ臣之國畧ナア

ソント云吾身ニソフシカト云フン

尸皮骨之謂骨肉 古麻呂古麻呂字誤之傳見統日本記

男子通稱

古今古律 天智朝作之養老令 今令之アメノシタシラヌ

シシヌハ知字或ハ治ノ字之伊勢物語ニナラキヤウ

カスカカサトニモルハ云ハテ今更ニ

淡海云 大納言ニテ薨ヌ大政大臣 贈位之後ヲ記

書タカシマノ之後存ニ贈位ニカキカユルヲ有職ノ古実

之老人ヲ傳テ知ル所ニ訓義ヲ知ル道公ハ正五位下

大之忌寸老人從五位下ニテ死ス正五位下ハ贈之守部連

從五位下ニテ死ス正五位下ニ贈之守部連神龜五年贈

名姓之本ハ煨治井之博徳ハ位從五位上トナヌハ馬

井馬飼トモ是レハ反名ト云テ字カカシマテハ色ニ

トカク之者テイレハトアレハ諸事ヲ辞宿稱ヲ訓テ

三子ヨト云訓之臣下ヲシタシム辞之上卿上ノ日上卿

ニ様之今ノ上ノハ日上ノ之上宣ハ上卿ノ下辞ナレ

ハト云之上卿政治要畧ニ見エ依諸ハコヒノマシ又申

シノマノ之名目抄ニマウシノマノトヨマセタリ夫長

云ニノ下時ノ兵官ト左大史トノ位署存アルベシ者ヲ

勻ルニ置フ華文ニモ有但シ俗之

沼 屬屈飛龍云マ淳和帝ノ御位ヲスヘラセタマフ云マ
夏野 天武帝曾孫小倉王五子今舟橋之祖之世號竝固大

臣

夏野令序小野篁代撰之云見本朝文辭

常嗣房崎之玄孫弘貞應神天皇後

清公アマノヲシヒノミコト十四世孫

雄敏紀繼房ノ子衛房崎ノ曾孫内麻呂子

敏久傳不詳眞負伊賀守家守子

讚岐公ハカハ子之永讚岐ノ書生ナル故公ト云

官位令第一

官位ト云解夏野ノ解ニ見工官位位官ノ下ハ官位相當

ノ取ハ官ヲ上ニ居之先叙位シテ後ニ任官故ニ位官ト

各是ハ任叙時節ノ前後ヲ以テ居之位ニハ位田アリ官

ニハ職分田アリ守行ノ下位高官下行字字位下官上

守字書行字居カク者位高キカ故ニ官事ヲ自由ニ行

ト云フ之字居カク位下ニ官事ヲ自由ニセ取ク守ル

ト云ニテ字尽之謂大臣以下云々大臣ヲ以テ一例トシテ居カクモ

注ニ謂大臣以下云々大臣ヲ以テ一例トシテ居カクモ

ノ之改ニ諸吏以上ト云諸吏ハ大臣ノサクワン之

品昔ハ四品称無品今庶皇子四品称無品称無品嫡皇子三

品称無品諸王親王ノ子之五世マテハ諸王之五世以後

ハ諸臣之親王贈姓則ハ臣下之故ニ雖無後難立

口品ヲ親王ノ位トシテ諸臣ニ別ツフハ日本ノ下之唐

ニテハ品トモ位トモ云之親王諸臣ノ別ナシトモト

モナ訓義ハミコトノリヲモナテ太宰工行キテヨコナ

フ故ニミコトモナト云之文散位日本ニテハ位階ノ總

名之當テモナキユヘニ此ニ比テヨ書ス本ト位唐名
ニアラス故ニ文ニ開一侍進ホノ唐名ハ此ニシルサス
カヨキハツ之近衛瑤玲院ノ説如此仰セラレス侯ト之
正ハ定之其定位ト云ハ從ハ其正位ニ從ワテヲタス
クルノ意ニテ從ト云々之ハ唐貞觀中袍色定三因之黑赤勲十
袍色緑ハ三色ニシタル是ハ唐貞觀中袍色定三因之黑赤勲十
シ等アリ因勲功賜之之今ハ武家官位ノ勲一等ヲ賜ル寸
之當色ノ服ト云ハ夕トハハ五位ノ人勲一等ヲ賜ル寸
ハ五位ノ袍ヲ着テ大納言ノ列ニ立ツ之無位ノ者賜勲
一等寸ハ黄袍ヲ着テ其等ニ立之散官前官之慶雲五年
閏十二月詔ニ無位ノ朝服ハ黄袍ヲ着セヨ欄ノ廣サ一
尺二寸以下ト云々續日本記小野篁着黄袍云々七宿卿

正五位下之上階ハカリ上階トコトワリ下階ハ知レタ
リユヘ畧之之下是レニナラハ格ハ貳宣ニヨリテ合ニ
モレタル觸レアル是ヨ格ト律令格式格之儀ニ依テ
寮ニ有大小大寮ニハ大允少允ノ別チ有小寮ニ大少ナ
シ故ニ只允下バカリアル之允下ハカリアルハ小寮ナ
リト意得ヘシ
左右大弁ノ細注ト中宮ノ大夫ノ細注ト入テカフテア
ル之
左右少弁彈正弼前後シタル之
從ヲスナヒト訓スルハ正ヨリニ從ハ事トスクナキユ
ヘニスナヒト云
佑音有佐助之

職員令

古今ニハ官位令ノ内ユ入ル職嘗員收皆官位ニ
ケレハナリ養老令ニハ別ニ職員令ヲ出ス之
官省寮司各有長次判主長次判主ノ外其官ニ隸スルヲ
雜任トイフ雜任ニハ至早故ニ位階相當ナキ之是ヲ流
外ノ官トモ云唐六典ニ番官ト云是之又被接ノ官ト云
アリ是ハ長次判主ノ外ナシトモ位階相當有テ任セ貴
キ之侍從判事ホノ類之四等之官カミスケセウサハハ
シヲ云々
神祇官ハ天神地祇ヲマツル官ナル云此神
ニテ外ヲ例準シテ見ルヘキモアリ
雜戸古昔ハ賤民良民ト云民ニ二品アリ續日本記第十

八卷ニ見タリ賤民ハ工ツ夕ヒシリヤウモウシ諸職
人共皆ナ賤民之具ナリ
孝徳天皇置ハ省百官時唐高宗ニアタル之故準於唐官
判官云々
神祇官垂仁天皇二十五年子治ル
大嘗朝諸神之相嘗祭リ夕ニ者供新穀云々此朝夕ト云
ハ猶前後ト云カユト云之十一月印日之
鎮魂ハ十一月寅日行ハル今ハ絶タリ鎮華祭之非鎮魂
之三月時分花ノ開寸疫癘行ハルモノナレハ鎮華メ
ノ祭リヲシテ疫氣ヲハラフ之神道ニテ品ニ口授有由
之今賀茂ヤスライ祭ト云祭有リ是鎮魂ノ遺風ナルヨ
シ百練抄ニ見ハタリ

身體シ中府心藏乎

御巫神ニヤシツキツカフルモノユヘニト云童
女ヲ用ル之大嘗會ノ寸行幸ノ先キニ猿女ト御巫ト竝
立テユク之猿女モ童女ヲ用ル之是ハ猿田彦ノミコト
ノ後ニナリテヘテ用エル之
トト部ニモ傳有リ然レトモ橘家ノ傳カヨキヨシ之左
手ニ自然ニモメケシヤレタル龜ノ甲ヲ持右ノ手ニ樺
ノ木ニ火ヲツケテ持テ龜甲エツキツケル之声アツテ
ヒ、ワレル之ワレメシレカタキユエアトニテ墨ヲ又
リテ其墨ヲ又クヒヲトシテミル之ヒ、キ目必ス六十
余出來ルモノ其ヒ、キ見テ占フ之上ヘヤケタルヲ
サテヒタト云下ヘヒ、キタルヲタメタト云色ニコ

トハアリ見ヤウウラナヒヤウハ口傳ノヨシ樺ノカハ
サクラ也加賀トモ有カハサクラト云木ノツレカ口傳
判官十マテモホウクワントヨムカヨシト云六也三
孝課課ハ過之ト註テ功アルヲ考ト云罪アルヲ課ト
云
移ハ天軀之下ヨリ上エ上ケルヲ符ト云下ヨリ下ヘ下
ルヲ父ト云同輩トリヤリスルヲ移下云
允長官次官判官主典四等ノ官ト云カミスケヤウサク
ワシニカミトハカンカミル之スケトハタスケル之セ
ウハマツリニコトハ訓スマツリフトトリヲコナチ
義之サクワンハ佐官之官事ヲ記録スル役之スケル義

之審置審トハ主典ノ勘造リタル文安ヲ審察スルヲ去
署ハ審察シテハリテ位署カキヲシテ長官ヘタテマツ
ル之
文案文ハ外外出スヲ云長及次官位署ヲカク之文ハ主
典カ書筆者之案ハ内エヲクヒカエカキ之判官主典カ
位署各ク之史生筆ニ各之之
允署ト云ハ多ハ位署ユスルノ之
替失替ハ一留之公事文書等ヲ留メ置之一日留置モノ
ハ答ニテ十三打之二日ト、メヲケハ倍メ二十六也三
日又倍四日云々失ハ失錯之各アヤマリ申ワコナヒア
レハ答ニテ五十ウツ之若已奏メ後錯シレル寸ハ六十
答ウツ之

宿直知ヨルトノミヒトノヒ——是考課之

勘署ノ署ニ位署各ヲスルノ之公坐公事ニアリタルノ
ヲ坐ヲカス之
節級遣坐トハ是首從ノ罪之其差別考課令ニ見ユ
讀申唐六典ニ過ス於ノト云テアルカ是之長官ユ
ヨシテキカセスノ之
神ア賦職ナリ故無相當所謂流外官之
長上番上上ハ仕ノ意之常ツメニスルヲ長上下云番上
ハ非番當番ヲツクリテ仕ルヲ云通鑑ニモ見タルヨシ
ト部忌ア中臣ナリ此ヨリ昇リタルモノ之
長上ハト部ニアルト之神祇伯ニハナキトナリ然ルニ
今吉田殿神祇ノ長上ト書ハアシ、是ハ長上下云フヲ

シラスメ只カシラト云義理見タルモノエヘ之
式処分時宣ニヨリテ置廢スルヲト云之
或人延喜式ノ式ニシタルハ非之
使部ハ依考テ大臣マテ昇進スル之是ヨリ以上皆功考
ニヨリテ同昇進スル之昔シハ地下ヨリモ段々昇進ス
ル之類也
何ノ家何家ト家々ノキワマリタルハ圓融院ヨリノフ
シソレヨリ學文々裏テ來タリ直テ一面ノ下部之無昇
進直ハ宿直ハト云之ト云ツカワル、モノナレ
ハナリ
長上ト宝龜六年五月廿六日

格ニ十部二十人内上首二人長上ト云ト有テ所謂式
処分之署魯語署之位之表之項羽記ニ部署吳中豪傑大
△大政官三司曹之ニヤ下訓大政官中別之ニ局力カマ
ヘテ有ル故ニヘヤト云シ以子ヘヤト云ハチカマ
○形字唐六典作儀刑令集解亦作刑字以同音通用ト云
○大政官国家社稷鎮守国家關轄之云云
連坐之法
大臣大納言 左兵官左大史
右兵官右大史
大臣有罪則大納言左兵官左大史ニカ、ル之大納言有
罪則大納言ト首トシテ左兵官左大史大臣ト次第ニテ

罪カ、ル之少納言有罪則少納言為首外記大納言大臣
トカ、ル之左兵官右兵官少納言為首、次第ニ同左大
史有罪左兵大納言大臣ト次第シテ罪カ、ル之外記右
大史同之
○一人テシント流則ハ天子ノ下之一ノ人云ハ關白ノ下
也、有職之難義ハ如此ヨミクセニテ義理違フヲ以テ之
唐六典ト下ニハ三公師三師範一人儀刑四海ト云三公ニ
經邦論道變陰陽ト云日本ニハ大政大臣斗リニ如此
云故ニ文ヲ連子テニ大政大臣ニカケテ云之
○則關唐ニテハ三公皆則關ノ官之日本ニテハ大政大臣
斗リ之大政大臣無職掌然父德實錄承和年中天皇融大
臣ニ大政大臣ノ職掌首トテ御尋アリケレハ師範一人

儀形云々ノ十四字ヲ以テ對照シテ此ノ下之然ルハ此
十四字大政大臣ノ職掌ノヤウナルモカ之始ニハ
○考課ハ檢スルヲ以テ年老ヲ通鑑ニ見ハタリ今日本ニテ
ハ一向年老ニテ考課ヲ檢スルコトナシト云々ト云ルハ
○惣判庶事唐開元令ニ惣判スル云フアリ是ハ尚書省ノ
庶事ヲ惣判スルコト之令コトニテハ大政官中斗リト云
テハ無ク天下國家ノコトヲ惣判スル之所謂國家社稷ノ
鎮守ナレハナリ此ト少違フエニ唐令ヲ引キタル之
○兼テ傳彈正ト云ハ彈正ノ正シヤウアミケレハ彈正ヲ
左右大臣カラ彈スル云フ之彈正ハ彈シタルコトヲ
直スルコトヲハナシ
○教奏ハ則下言ヲ上ニ入ル、之宣旨ハ上言ヲ下ニノグ

ル之

○依律長官執掌之踏印ヲ監視スルヲ主リテ身ヲワセ
ス故ニ依律——ト云可然而不然故ニ

○宣旨侍從ノ下中務條ノ三字衍文之大納言ガ兼テ侍從
ヲ天子ニ侍シテ獻替スルカ故ニ——ト云中務省ノ
宣旨侍從ハ若將軍征伐ニ出ヌルハ侍從カ奉教テ將軍

ノ方ニ見マイニ行コアリ此テ宣旨侍從ト云之此——
トハ相違アリ故ニ注ニ三字衍字之

○鈴印鈴袋ニ有鈴ニキツアリ五位ハ五割六位ハ六割
コノ刻ニテ人々文未出ス數ヲ知ル之此鈴印ハ

人馬出ル之飛驒ノ時ハコニ入レテヤル故ニ函鈴ト
云之此鈴ハ天子古來傳來之鈴之此ヲフルハ人々亦モ

刻ハ刻ナラン

○出來ル軍ヲ出スルニ出サシメハ大劫ト云フ
之故ニ内侍所ノ大刀契ノ唐櫃ニ常ニ入レヲカル、之

内侍所唐櫃ニ有ニハ咫鏡ヲ入レテ有ルニ
ニハ此駄路ノ鈴ヲ入レテアルナリ節度ト云モノアリ

節度ヲタマウベカラサル寸此鈴ヲタマフナリ畢竟今
ノサキフレ之行幸ノ寸鈴ヲ奏ト云フアリ少納言カモ

チテ行幸ニ從フ之令方、開帳ナトニ驛路ノス、ト云
モノアリ是ハ唐ラニテ按摩醫者カ帶ヒテアリクモノ

之コノ音ヲ聞テ按摩ト醫者ヲヨヒ込ム之漢名モアル
モノ之節度鈴印ノ鈴ハマルキモノニテキサノアルモ

○印内印外印トモニツアリ内印ハ天子ノ印三寸四分四

方アルナリ令位記ニ踏スル之外印ハ大政官ノ印ナリ
宮印トモ云ニ寸五四方アリ政事ニカ、リタルニナリ
ナリ
侍從員内ト云ハ正侍從八人ノ内ニテ少納言三人置カ
故ニ——侍從ニ色ニアリ正侍從ハ天子ニ——スル——
之非侍從ハ不經侍從家ヲ云之擬侍從ハ大中納言日侍
從ノ格ニシテツカフヲ云次侍從酒番侍從ハ酒ヲ生ル
ナリ出居侍從列座シテカサリニツメテナルヲ云
○史生春記役之故ニ唐各行書ト云史生カ位置ヲトリア
リ之玉海御堂記中古記中御門右府記ナリ史生カ
位置ヲトリツルト見エタリ
○少納言ニ左右大弁モ大政官ノ判官之少納言ハ内證而

○カセ大弁ハ表ムキツセウナリ
上下上ハ仕之下ノマカリ下カル之故上日下日ト云
列見ホ大政官ノ廳ニテ行ハル之見
諸國朝集朝集字卓民操林ニモ出セリ諸國自カ任官カ
タメニ北斗テ居ヲ云朝集堂トテ堂アル之令モ節會ノ
寸ニ外任ノ奏ト云トアリ令ハ朝集ノ者ナキ故ニ名ヲ
作り名ノリモ目出タキ字ニテツクリテ外記カ書シテ
奏スル之天子備列ニトノ御言ハアリ畢竟形斗リト
之宿衛ノ官ハ被管セス例ニ非ル之
運穀ハ軍彈之要所ニナルエヘニ郡——中正清灼然ナ
ルモノアレト此例ニアラス
巡察使一二若民使ト云民ノ若ヲスクフ故ニ云之

△中務省[宮内諸務ヲ主ル唐ノ門下省

○贊相礼義宮内ノ礼儀之臣下礼儀ハ式部贊相スル之

○覆奏大事ハ大納言覆奏小事ハ中務カ覆奏スルハ天子日以之可

言覆奏スルハ天子可之中務覆奏スルハ天子日以之可

トハ可ナリトノ夕マフ之日下ハ其日附ヲ御唇シタマ

フナリ

○内親王ハ一世ノ親王之女エハ家來ノ考課ヲ下リ以カ

セシタメ中務省ニ被スルナリ

○其氏女御巫云云ハ内侍以下十二人ノ外之氏女ハ有氏

人ノ女ノ美良ナルモノヲ入レテ置之是レハ采女ニセン

カタメナリ

○女堅ハ嬪ノ下之嬪ノツカヒモナリ

○庸調ハ貢ト庸ハ一布ナリ

○勤問ハ婦人ナリハ直ニ考問ヘカラス因テ名代ニ問之

是勤問云直ニ其人ニ問フ考問異同上云下ハ白ヤウカ少違

フ之

○雜使ハ一寸トシタル使之彼致仕メ在岁内者ヲ令内舍

人巡問之ニ類之○監物ハ朝政ノ政庫ノ藏管鑰ヲ請進

スルトヲ主ル朝政トハ嵯峨天皇弘仁年中有令モシ次

第ハ内裏式ニ見エタリ出御ノ寸承明門ヲ開キ出御ナ

ル之畢テ清凉殿ニテ朝サノ供食ヲ奉ル之又其ヨリ紫

震殿エ出御ナリテ政ヲキコシメス之監物ハ其朝政ノ

時管鑰ヲウケカイテワケスヤリ之故ニテ口モナリ

カサト訓ス

與律ノ牡ト為管不同牡ハ鈎類管ハクワシ又キ之牡ト
管ヌリト同シヤフスト云フ之畢竟ハ律ニ云テアル牡
管トコトノ管鑰トハ別シヤト云フ之
三等以上ノ親五等ノ親内二等三等ニハ罪ニカレト
モ各一司タレハタトハ内記ニ親カ居監物ニ子ガ居
テモカマナイナキ之一司中親子ハチカ又之惡事相カク
ス丁マレハ避ル之桓武以來四宮之其ヨリ前ハ三宮ノ
惣稱テ中宮ト云之
天子曰勅春宮曰令旨三宮曰啓令
舍人ハ官使之流外ノ官之使部ハ役所ノ内ニテノ下
テコトヲハハハ之舍人ハ外ノ出ス使之官人ハツカヒ
カ

- 假使ハ一寸トシタレハ使之タテハ令節會ノ取少納言
ヲ召サレ使ニ大舍人ヲ召サレツカワセタマワルイ
○功程ハ日課之一日三十ニホリノ下日ワリヲシテア
テカフ之
- 校曆手アリ寫曆手巾ニ約スル之
- 古代曆籍天セハク地セロシ本ノコトチヨコルレハキ
リテノチシタメ之
- 古墨横ハ分長二尺
- 古筆鹿狸ノ毛相雜セテ造ル長ケナカク唐筆ノコトシ
慶長天長ノ間マテ古筆アリシトナリ以上延喜式ニ見
ユ
- 紙屋川北野ノ西ニ圖書ノ別院アリ紙谷院ト云紙ヲ紙

屋川ニテスキテ圖書寮ノ用ニソナフル之

○紙戸山城ノ国ニ紙戸五十軒アリ延喜式ニ見エ津國神

兄ト去所ニモ居リシトナリ

橋昔シ羚羊ノ皮ニテ作レリ羚羊ヲニダト訓スユヘニ

橋シヨクク音ニヨマズニクノ音ニヨム之昔シハ禽獸

ヲ食シテ皮ヲ着タルナリ今來天照大神ノ詔宣アリテ

○ノチ織物トタテルナリ

○日本昔シ高買ナシユヘニ市ニ出テ物ト物ト交易シタ

ルナリ

○百濟戸ハ百濟ヨリ來レル手部ノ遺類ノ居ル里ヲ

ト云ス

○百部ノ手部ノ雜絳作事ハ革類斗リ之其外ノトハセヌ

ナリトカウヤワヲト動アツカラハ百濟リヤタ之按令

織物ト曰ワモソ百濟遺類ナラセカ

○采女采選之ト云注ナルヨモ一ハ郡司ノ女美ナル者

ヲアケテ采女トス

○緩急就篇注綬受之所以承受印環之

○蜜封シテ天子ニ奏スル之蓋シ天文密奏ノ宣旨ト云

ナリレハ奏スルトハナラヌ之天文密奏ノ一ハ禁秘

抄ニ見ヘタリ

○擊鐘鼓之數ハ延喜式ニ見ヘタリ

○畫部畫師ノテツタセ之繪ノ具ヲトキタリヌリタルス

ルモノ之

○内承司寛正八年典藥寮ニ合ス

○昔シハ昔劑本方ノ通ニ合セタル之若以私意加減スル
ト其加減シタルトカ知レルト刑罪ニアフタルナリ

○内礼司大同三年合彈正臺之

○醫疾令ハ關三篇ノ内之令ハナシ

△式部省ヲテツカフトモノリノツカサトモ訓ス

○内外文官外官ニモ文官アル之國司ホ文官之

○雜造クサシメノミヤウユト云フ之物官人ヲ昔シハシ

○ヤツコト云シニ一説四等ノ官ノ外ヲミヤツコト云ト
云ニ惣文官ノ名帳皆式部省へ來テアル之

○貢人ハ國ニ出ル財徳アルモノ之是レ其國ヨリ出テ
級第ノタメニノホル之是貢人ト云尤、國ニヘアラカ
シメテハセテアルハ貢人ト云カ何分家ヨリ起テ京テ

ホリ級第ニツクモ、
位記文官ノ位記之武官ハ兵省ニアツカル文官ノ位

○記トハ正月七日ノ位記五位以上ノ未之四月十五日

成選ハ位記六位以上之昔シハ冠ニ二位シレタレハ

冠ヲタマハリテ位記ハタマワラサルナリ大宝年中ヨ

リ冠ウレシタリニナリテカラ位記ト云テアリ是ヲタ

マフ之

○版位令ノモシ版ニカキタルモノアレハモ書法万端ム

カシノ版位トハ一向別ナリ

○封トハ封戸ヲ賜ル下之民戸ヲタマフ之

○朝集スルハ任シテ位記ヲイタ、キテ歸ル之ムカシハ

冠ヲ賜フ之古冠日本記ニ製法アリ

秀才ハ記傳道ノ儒生フ之

策ハ策文ヲ作ラセテ試ル之令管家ノ人初爵ノ此獻策

ト云フ有リ北野ノ天神ノ神前ニテ詩式文ヲ作リテ神

ニ獻上スル之是ケシヤクト云昔策文ノ遺風乎

六假月ニ六日ニ休暇之假ハ字誤リ之暇本文ト使下ノ下之

暇使下云

昔流罪以上ハ罪ハ國司直ニ断スル下ヲ得ス故ニ覆

国使アリ

功臣家ノ侍田上功ノ者ニハ世ニ傳テ功田ヲタマフ之

中功ニハ三世或五世下功ニハ一世ト云ヨウニ功ニヨ

リテ田ヲタマワリタルナリ此トリサハキヲモ此省主

モハ云ニ之又一説ニ功臣ハ各其家傳系譜有リ是ヲ進

タルヲ云田字ハ行字之功臣ハ家傳トヨムヘシト云夏

野注モ此説トトホリ之然レトモ前説可ナラシカ功臣

家傳ハ式部掌印常ナリハ家傳ハ中務省ハケタマ

ワル之

○大學寮ハ初メ律學ト云ヨリ得業生十人ト云マテノ注

トモニ四十三字行文之令集解ノ天平年中ノ格ノ文之

細書ニテ為給糸ニナルヲアヤマツテ大書シテ本文之

ヤウニナリタルナリ

○簡試ハ歳ノ暮ニニ大學頭學生ヲ試ムルヲト云

課試ハ月一度ツ、大學ノ博士カ試ムルヲ

○大學博士大博士トモ云

○散位寮寛平八年式部省ニ合ス散位トハ假ハ有喪人

○ 喪中ニハ官ヲ辞シテ位斗リニテ喪ヲ勤ムル之ヲノ
 官ヲハ其人ノ喪ノ内ニニ又他人ニ補セラル、故ニ喪
 明キテモヤハリ散位ニテ闕ツクアルヲマキテ居之コ
 ノアイタハ散位寮ニ居ル之カヤウノ類ヲ散位ト云之
 今ノホフ三位等ヲ二位ナトモ昔ナレハ散位寮ニ居子
 ハナラヌ六ツナリヤ
 ○ 牒ハ文牒之古案アルモ、之
 ○ 本姓帳姓帳トモ云畢竟戸籍ノ名之戸籍ニ姓ヲ記シテ
 アレハ姓帳トモ云ヘシ
 ○ 継嗣ニツキテ恩子恩孫ト云ノアリタトハ父三位ニ
 位或大臣ナル寸其恩ニヨリテ子モ高クタチテス、之
 モハヤモ是ヲ恩子ト云又孫ナレハ祖父ノ恩ニヨリテ

夕子孫ス、之モヨキヲ恩孫ト云之向
 ○ 生肥トハ母ノ衆生之其女ノナリ夕子ヲ
 ○ 自大藏省下給之ト云ハ贈物ヲ大藏省ヨリ治部省へ
 コニテ治部ヨリ死人ノ方へ下サル、之
 ○ 勤申トハ先々ノ格式ヲ勤申之
 ○ 国忌ニ入ルトイラヌトアリイルハ官府ヨリフレカ日
 本國中エマワル之或ハ年忌御命日ハ国忌ニ入ル之古
 ルキハ次第ニソク之其レノ国忌ハ御除アルヨシ官
 府ヨリナレ
 ○ 伎樂女舞令ハ夕へテナシ伎樂ノ面宝隆寺ニアリト云
 云
 ○ 糸戸大和國城下郡柱屋村ニアリ是糸入村也

○昔六寺足額トテ數キワマリテ有ル之令本寺ト云カ僧
 正一都律師三剛スワリテ定額ノ寺ラ之末寺ト云カ定
 額テナキテウナリ本末ト皆數限アリテ新タニ寺建立
 ハナラ又之僧ニナルト年分度者トテ是レモ一年ニ百
 人ニハズキサルナリ色々僧ニナルニイワレアルト之
 令アヤウニナクタクマニニメツタニ僧ニナルトハナ
 ○僧官綱ト云書アリ是ニ詳ナリ刊本ニハナキ本之小野
 氏所持ナリ
 ○番客先大宰府ノ鴻臚館マテツキテ是ニ居ソレヨリ及
 海使ト云モノ京都エテホル之使登ルト勅使下ル之難
 波ノ海ニテ番客ノ船ト勅使ノ船ト向テ合フテ勅使勅

趣ヨ番客工ヨシキカセルナリ其ヨ勅使ヘモ登リ
 番客ニホル之飯リニハ羅生門マテ送ル之不出幾外
 之迎ニハ出幾外飯リニハ羅生門マテ送ル之鴻臚館
 ○今東寺西寺之京師ノ堂ノヤノヤノ同イタニ
 ○荷前十二月天子御先祖御廟工初穂ヲツナヒテ幣帛ヲ
 サケルナリ
 ○陵戸^{ハカモリ}土部周礼方相氏大連小連ニハハシウシフト
 ヨリカナルナリ大臣大連——トハ大ニ千カフト之
 喪儀司大同三年ニ鼓吹司ニ合ス陵ハ天子斗リノトナ
 レハ——ヲ置喪儀司ハ臣下ノ喪墓ノトヲツカサトル
 ナリ
 ○笏音コツナレトモ骨ト云字ト音同キエヘ諱ミテシヤ

クトヨム之楳木ヲ笏ニスルユヘニ楳ヲシヤクノ木ト云之楳ハキヤヲ木ノ一之位ノ木ト云ハ祝辭之十二ノ木ニテモ一位ノ木ト云ヘシ歌未ウタト訓スサイハラニヨリテツケタルナリ

△民部省

○奴婢官私ノニツアリ官奴婢トハ有官モノ罪ヲカメ官中ヘヲシコメテヲクヲ官ト云私ノト云

○ハ非官者ノツカイモノ之官ト云戸トモ云

○謂依戸令云之左右京職モ掌トルヘケレハ亦同ト云之

○孝子義夫アレハ唐ニテモ其里ノ門ニ青表ヲ立テ孝子ノ門義夫ノ門トカキワクル之日本ニテモ天武天皇大室三年ニ表ヲ里門ニ立ル例アリ続日本記

○役歳二十一ヨリ六十マテ役ニツカハル之十日ナリ

若役ニ出テサレハ庸布ヲ出ス之一人ニ一日布長二尺

六寸ツツモリ出ス之調布トハ別之トハ諸国ヨリ貢クル布之

○同籍ハ孝子義夫ノ一家一門之若一家一門ノ内ニ孝子

義夫アレハ皆課役ヲ免サル之

○復ハ漢唐師古注アリ令ノ諸役免除之一年ノ復二年三

五年ノ復終身ノ復ト云別アリ昔シ大嘗會ユキスキノ

郡ニハ復ヲタマフ之令ハ亡シ

没落外蕃不思風ニ吹ナカサレテ外蕃ヘユキキ還ル之

○遷御

蜀ハ終身ユルサル、ヲ云免ハ一年或二年五年ユルサ

ル・ヲ云之

○ 然後注免戸籍ニ其人ノ名ヲ記ス其名ノ肩夕ニ何年免ト云トヲ記ス之

○ 家人奴婢トノワカチハ家人ハ其家ヲタイノ家來ナリ

奴婢ハ譜第ノ家來ニ非ルナリ然レハ奴婢節チノミノ

ハイツマテモ奴婢ニテ其家ニツカワルハ之畢竟家人

ハ格ヨリ奴婢ハ格アシ、若人カ方ヘユクテアルモ其

主人ヨリ牛馬ヲウクルトスルヤウニ賣テヤル之人一

人リカ錢二百ツ、之昔シハ人ノ家來ニナルトコト

ノホカハシタル之右ノワケユヘニ法曹至要ト云書ニ

見エタリ

○ 平民良民也

○ 橋道以下云云委細集解ニ見エ唐土ノモリ國

○ 主計カスヘカソヘハ轉音之譯軍ニ譯ハ長士

△ 調ト云テ調庸ト云ワサルハ庸ハ主税寮ノ掌ル所ナレ

ハナリ

○ 支度

○ 主税チカラ言ハ五穀ハ民力ヲ以テ出キルモノモユヘ

○ チカラト訓

○ 昔私分田ハ一人受ニ反組出ス二斗二升ヲタレハ三百

六十歩之。公分田アリ公田ヲ作ルモノハ組ヲ不出シ

テ地子ヲ出ス地子ハ三百六十歩ニ上田ハ八斗中田ハ

五斗七升下田ハ二斗出ス之是ハ一反ニ米二石五斗出

キルト見テノ以テモリ之地子ハ令ノツク田之ツク田ト

ハアテ作田ヲ云之

○組倉ニ入レテ後ノ名之賦ハツクリ上ケタ上ヲ云税賦

一之

○調フソヒモト云フアリ是ハ調ノ外ニソヘテ上ケル

○モノナリ黄連黄蓂ノト云美ノホノ類之

○春米遠邦ヨリハ轉送ニ勞スルユヘ白米ニシテノホス

○ナリ延喜式ニ春米ヲ貢ユル国二十二ヶ国アリ春米ハ

大炊寮ノ諸官ノ飯米ヲ出ス迄ナレハ春米ハ大炊寮ニ

入ル之然レ臣主計寮ヨリ勘定ヲシテ渡スナリ

△兵部省ツカモノ、ツカサ

○内武官ハ六府ノ類外武官ハ將軍ノ類

○兵士元士百姓之昔ハ百姓カ武士ヲカ子テ其国ニ居

○テ其クニハ乱暴久ヲ防キ或ハナンソノトノ時ニ御用

○ニメシツカワル下之大兵ヲ撃ル下キハ兵士マテトリ

○テツクウ之其国ニ居ル兵士ト云其国ヲハナレテ遠

○キイナカヘ防キツカハサレタルヲ防人ト云又京工召

○登シ軍團ヤ六府ニ置カル、ヲ衛士ト云一人ニシテ其

○ヲリ処ニテ名三ツトナル之一人三名之

○校尉ハ軍團ノ役人ノ主帳ハ軍團軍士ノサクワンナリ

○軍團トハ團集之國ニ軍團アリ白川ノ軍團ナト云ハ此

○事之八幡ニ團処ト云処有リ昔軍團ノアト乎

○符ト云ハ官符ハカリノトノヤウニ思フ人アレトモ省

○符ト云フモアルヘシ注ニ省直ニ下符於国云々以之可

見ル

○契勅契ハ魚ノ形ナニ作タルモノ之大刀契ノ唐櫃ニ入
リテ有ト之

○大毅小毅云ニ外武官ノ一例ニテ出シタルモノ之

○兵馬人ノ常ニルリ馬ハ右馬寮出之兵——兵用ノ

馬且郵驛ノ云ニノト之大同三年ニ馬寮ニ合ス

○公廨ト云ハ昔ハ国ニ公トアリ又ハナキ國モアルヲシ

是国ノカミスケセウサ官役料ヲツクル田地ヲシハイ

スルヤクヤシキ之此役ヤシキノ牛馬ヲ公廨ノ——ト

云之

○天子大兵ノ出ス寸ハ公私ノ馬ヲ出ス故ニ其馬數ヲ帳

ニトメテヲク之令江州ニコ子ニ馬牛ノ數ヲ守帳ニト

ムルカヤウノヲナラン

○驛馬乘馬之スケレタル馬之傳馬ハ荷ムマ之スケレ又

師馬ナリ

○造馬司造兵司之馬字誤リ之寛平八年兵庫寮ニ合ス

○工戸ノ戸口半ニ云工戸ハ兵器馬具ヲツクル工之弓師

矢ハキホ之

○雜工部ハ田舎ノ雜工ヤヨリトリ擧ケテ二十人置ク故

ニ雜工部ト云之本文ノ雜工部ハ官名ノヤウナルモノ

ナリ注ノ雜工部ハ田舎ノカサノ工之按取雜工戸而

充之ト云ヘシ然ルニ部字ヲ脱スト云如何

○假治部泥部等令度ノ名ニアリ是ムカシ銀戸泥戸ノア

不考ケシト

ト乎

○以鼓名鼓云ニ至金奏十二字及注二十一字共三十三字

鼓吹司ノ條

行文之是モ集解ニ引タル周礼ヲアママリテコ、ニ記
ルスケツルヘシ

鼓吹司寛平八年兵庫寮ニ合ス鼓ハ軍鼓吹ハ大ハラノコエ笛小コノコエ笛

之タケノツ、ニ穴ヲアケテユシラエタルモノ之今フ

シミナトニテ湯ノシラセニフク之万葉集ニツ、ミノ

コトシトアリ此事之

主船司令モ主鷹司弘仁年中天子佛法ヲ信シタマフ因

テ主鷹ノ官絶タリ平野ニタカヒヘト云処有津ノ国ニ

トリカヒヘト云処有鷹戸ノアト乎

刑部省

獄ニ其罪狀ヲ書キタテタルヲ云刑部其獄ニヨリテ何

形ニヲコナハト云ツケル之四討ハ刑ヲ通りニ答或死

ヲ云之

左京ノ諸司ハ京職 送ルヘシ故ニ犯從以上送刑部省

云之

衛府紀捉作被
非之スルトハ衛トカセシキシテトルマエタル

下カ人之

實屬トハ本實本屬之本実ト云ハ郷籍ト云テ帳ツキノ

人之本家ト帳ニツキテアルヲ本ト云之属ハ一家之是

モ本枝アルヘシ唐六典ニ籍官トアリ

連寫案申云ニ是ヲ連案ト云之

良賤名籍云々良所今ハ良ナレトモ昔シハ彼物賤之我

今賤ナレトモ昔シハ良之ナトウツトフル之又賤良ニ

ナリタキトテウツトフルモアリ
賤民年九十ニテ功アレハ良民トナル之其子孫永々良
民之兄弟ハ不關之其人一人ニカキル之令無氏人有是
皆昔賤民之

因禁因ハ口ウニ入レタル之禁ハ散禁眩禁ト云ニ様有
リ散禁ハ禁足中ツケ或ハサシキ口ウニ入レルホト之
眩ハ縛シテ坐シキニ入置之

六賊^アカナヒ之是ハ皆上ヘノ上リモノニナル之

一強盜^ニ竊盜^三柱法^四不柱法^五受所監臨

六坐賊^ス是ハ賊ヲ倍シテトル之

入公入私入公トハクヒ代ヲ出シテ夕スヤル之入私ハ

○クヒ代ヲヤリテカニニ是等モラフ之代ヲトリテカ
ンニンスルユヘニ入私ト云之

○闕遺ハヒライモラトシモラ之昔ハ札ヲ立三日ニメ

○ヲトシテ不出眩此司工入ル之

○徒役功程云々從罪一年ノ徒二年ノ從終身ノ從アリ從

法尽ルハ使ヒモラニシ夜ルハ極措シテ人ヤニ入レテ

ク之配決トハ從夫ニシテ國ニフシシノ処ニアリテ日

僱代ヲサスル之

○伴部ハ諸國仕丁ノ口ウヲマモルモノ之色トハタクイ
ト云フ之

○了字ヨホロト訓ス物ア了ハ人斬リ役之

△大藏省

- 調ト云ハ縮綿布等調物ノ惣称之調ノ添物ト云トアリ
- 鐵監鏗紫草ホ之調ノ雜物ト云トアリ木綿添ホナリケ
様ノ物ミナ戸ニ課セラ出サシムルユヘ課戸ト云
- 錢ハ和同始ル金銀ハ文武天皇大宝年中對馬ヨリ始テ
出ス
- 帳ハタレタノ之吉黄記記録モノ之帳ヲ貢セシト見タリ
- 一切ノ始リハ和事始ニ見タリ和事トハ貝原翁作之
- 大尺ノ一ハ度量考ニ見タリ
- 當市賣買ノ寸ハ市正カ掌ルヘケレトモ尚此省モ念ヲ
入正サシ為ニアツカリ知ルナリ貢物ヲ下ヘ出シテ市
ニテ賣買スルユヘ此省モアツカリシル之
- 官家ノ價估ハ中估ト云ハ是貢物ヲ出シテ市ニテ賣買

- スル暇官國中估ニセヨト御出サル、之是ヲ官價中估
- ト云ハ估ニ順義ヲ市ノアタヒノ高下アル之中價ノ通
- 物ニキワマリタルフモナシ但中估ト云ハ上ヨリノ條
目ニテ價估ノ手ホシ之
- 淺履ハ古ハナシ後世ノ一之履ト云ハツナヌキノ一之
- 昔シハ常ニツナヌキノハキニ之
- 百濟手部令ノキリカワヤノ類之傳考レハ五位マテハ
ノホル之河内國ニクタラベト云処アリト昔ノ百濟戸
ナルヨシ狛部ハ幡ノ近所ニコマノヘト云処アリ昔シ
ノ狛アノ戸ナルヘシ
- 典錢司宝龜五年三月合内匠寮
- 火齊班ヒイドロフラスコノ類ヲ云火ニテフキツケテ

コシテユルモノユヘント云炳消トナマリト合セ
テ火ニテ齊ヘテコシテユル之令モ千米ニテ作ルト云
ハ非之

○掃部ハ神代ヨリ有リ家於海辺海ヨリ蟹カハイ上ルユ
ヘニ蟹モリヲ置テカンノ守ヲサセタル之カニモリ轉

○ミテカモシトナリタルナリ弘仁十年ニ掃部司内ノ掃
部司ヲ合セテ掃部寮トシテ宮内省ニ被官シタルナリ

○藺似莞ミルカ細キモノ之然レトモコ、ニテハイト云艸ト見
タルカヨシ

○葦簾ハヨシスタレナリ
○漆部司大同三年ニ内匠寮ニ合ス
○縫部司大同三年ニ縫寮ニ合ス

○縫女郡司ハ大頭ホ領ノ内ヨリ容顏美麗ナルモノヲ出

○シテ采女トス容良スカレサルモノヲ出シテ縫女トシ
カ強キモノヲ出シテカ自トスカノ字ヲトウトヨマセ

○ル之順ノ和名抄ニハ眉字ニテトウ自トヨマセタルナ
リ謂老女曰ト云々

○前令ハ大宝令即古令之
○其考者依旧ト云ハ居キ処ヲカヘタル斗ニテ考課ハヤ

○ハリ古ノ通り宮内省ニヨル之
○桃文師令ノソラヒキ之應神天皇時唐ヨリ渡リタルモ
ノ之姓氏録ニミヘタリ姓氏録ハ曼多親王作之

△宮内省食物ニカ、リタル方ノ調物ヲツカサトル之故調
物ト云ナリ

- 官田供稻田ト云々大和河内攝津ニ二十町ツ、有り
- 宮内省氷リノタメシノ奏ト云フ節會ニアリ今ハ名斗
リニテ儀ハナシ
- 未醬ミノ
- 鶉飼ウカヒ之ウノトリハ鶉鷺ナレトモ鶉ノ字ヲウト
ヨミキタラセタルナリ養老五年ニ鶉飼ヲ停止セラレ
タルナリ殺生ヲ禁スル之鶉ハ鶉胡トテガラシテウノ
ノ之ウノ鳥非ス
- 雑色ハ諸国ヨリ登ル工人ノ類之白丁八百九甲之直ノ
シロト
- 蓋ハカサホコ之昔ハ皇太子卿公以上ニハ蓋ヲ賜リシ
ナリ今賀茂ノ近衛使ノウリウカサ昔ノ遺風之笠ハ

日カサスケカサ之織カカラカサキヌカサ之
扇ハ御翳之天子龍顔ヲオ、フモノ之唐ウチハノ如キ
モノ
帷カヘシロノ類帳ハ「マン」ノルイ
典藥昔シハ庶人ニテモ願ヒニヨリテ藥ヲクダセレタ
ルモ今ノヤウニ専門ノ醫者ハナキ
藥戸七十五戸乳戸五十戸延喜式ニ見エ
乳ハ牛ノ乳之大饗ノ礼ノ行レタル時ハ天子ヨリ大臣
エ牛ノ乳ヲ賜リタルナリ
皇親王ニハ二季ニ録ヲ下サレタルナリ姓ヲ賜ハルト
臣下分ニ嵯峨帝始メテ姓ヲタマワリシ之嵯峨源氏是
ナリ

玉食調食ニフト誤リアルハ徒罪三年ト云ニ依テ念ヲ
入ル之
内膳司

神護慶雲二年詔ニ高橋安曇氏内膳カミニ任スル寸ハ
奉膳ト云ヘシ其他ノ人任之寸ハ正ト云ヘシト云テア
リ其他人ハ非高橋氏他姓ノ人ニ
大膳職ノ竈トノ名ニツ有リ一忌火ト云神夏ハ寸用一
ハ庭火ト云常ノ時用内膳ニモ此二竈リト云ニ
大膳ハ臣下ノ膳ノ主ル令ノ節會天子ノ御膳ハミツシ
トフ口内膳司二人此文ミツシ所ノ註ナリ令外之表向ノ膳ヲ掌内膳ハ内證ム
キノ膳ヲ掌臣下ノ膳ハ大膳掌ル之
造酒司延喜式又ハ古事談ニ大フトシ小トシト云酒瓶

- アリ是ハ神代ヨリ傳リタル御器之天徳年中内裏火災
時ヤケウセシトナリハ宮中ノ人ローカト云フヤ
酒戸百八十戸
- 官奴司官奴ハ禁中ノツカイモノ之令穢クニモ非ス平
民ニモ非サルモノアリ古ノ官ノ筋之
- 口分田ハ人一人ニ二反ツ、
- 園池司寛平八年内膳司ニ合ス
- 土工木工寮ニ合ス年月不知レ
- 采女諸国郡司ノ女美者十三ヨリサ一二三マテノモノ
ヲ為采女
- 主水訓義通用ハモイトリト云義之茶碗ヲモイト云コ
レヨリ義ヲトリテモイトリト云ト云之又秘訓ニハ書

經ノ洪範ニ水ハ本之ト云ヨリトリテモシトテ本ノ轉
音トミル之モトモントシ音ノ轉之水ハ万物ノ本トナ
レハ云之ト云ニ是秘訓之

○主油司寛平八年主殿寮ニ合ス

○内侍司弘仁十一年縫殿寮ニ合ス

△彈正臺

○和同五年ニ諸寮諸司ヲ廻リ若有非違考課ノ時考ヲ延

シタルトアリ

○宮改トハ天子ノ御身ニ害アルヤウナトヲシ出スヲ云

トト奥ニ注

○宮城門ハ羅生門之昔ハ宮城へ入口一方口ニ仕テアリ

タル之宮城惣門之

○衛門府昔ハ衛士府ト云後鞍負府ニ合セテ衛門府ト云

○諸門ト云ハ十二門之

○門脇物ヲ出ス寸ハ其品ヲ板ニ層テ門ニ張之其脇ノ書

付ニ合セテ出シ入レヲスル之

○隼人ハホノヌツリノミコトノ子孫之 大隅 薩摩

兩國ニ居ル一年代リニ京ニ登リ宮門ノ驚固ヲスル之

ハ幡ノ近処ニ大隅村ト云処アリ是ハ京エノホリタル

隼人ノ仕度リトコロ之乎非番ノ日ハ簾ヲ織竹筵笠ヲ

スル役之隼人ノ犬吠ト云フアリ御門ノ前ニテ犬ノ吠

クマ子ヲシテ人ノ出入ヲトカムル之畢竟驚固ノ意之

今神々ノ御前ニ獅子ヲ兩ワキニスヘテアルハコマ犬

ノ形チナルヘシ誤リテ獅子ノ形チニ作レリコマ犬ヲ

置フハ隼人ノ意之昔隼人カ犬ノ似子ヲシテ驚固シタ
ルニ因テコマ犬ヲ置之
歌儻樂人ノ歌舞トハチカフテハイ人ノ歌舞ト云フア
ル之

○隼人國ト云ヘハ大隅薩摩兩國ニ限リタルト之

○隼人國ニ居ル寸ハ百姓ト同シトニ課役ニモサシ兵士

ニモツカワルニナリ

○隊伏トハ宮衛ニヨルニ衛士陣ヲ隊ト云兵衛ノ陣ヲ伏

ト云之

○差料ハ藏庫ニハ夜廻リ有リ其夜廻リニ差料セラル

之サシヲセヤル之

○殿ハ在後陣ヲ云レツハテハ人意之合テハ藩門番ト云

○左大將ハ左大將ト皆讀ミ右大將ハ大將ト斗讀ミテ右

ト不讀

○左兵衛左衛門皆讀右兵衛右衛門右ト不讀

○閤門ハ陰明門陽明門ヲ云之十二門之内之

○番長ハ長ハ上ノ長右兵衛四百人ノ頭ラ之四百人

ハ分番外ノ四人ハ長上之物ヲ四百四人之是ハ令ノ隨

身之隨身トハ召供ノ人ニヲ云之兵仗ヲ帶シタル斗之

隨身ト不可心傳大臣公卿ニ隨身兵仗ヲ賜フ寸ハ兵仗

ヲ帶シタル隨身ヲ召供セラル、之御隨身ハ令外之與

是別之

○左馬寮ハ天子ノ馬ヲ掌ル然レトモ左馬寮アル馬其

○臣下ニ備賜ル之借賜ル寸ハ臣下モノル之

配給トハ米ハ内膳寮カラ出ヌナトノ類ニテソレハ掌ル処ヨリ出ヌヲ云

○飼部ハ牧ト在ル処ノ馬ヲ飼フ之牧ニヨキムマアレハ

飼部カトリテ左馬寮ヘヲクリ左馬寮ヨリ民部省ヘツ

ケルナリ

○馬部ハ牧丁ト同本寮エツマテ居ル寸ハ馬部ト云牧ニ

ヲル寸ハ牧下ト云

○曝涼日ニホスヲ曝ト云陰乾ヲ涼ト云

○内ノ兵庫司大同三年兵庫寮ニ合ス

○過所キツ手ト訓ス道ヤ橋ノキツ手之

○保ハ二町四方之保四ツヲ坊ト云保ニモ長令有リ坊ニ

モ長令アリ

○上十五日東市下十五日ハ西市ニテ交易スル之

○交易貞觀平治ノ比マテハ交易之其ヨリ金錢ヲ以テ物

ヲカラ之其國ノ商賈ノ盛衰ハ其國ノ盛衰ニ依リテ

○延喜式ニ無市ニ其品物ノ名ヲ表題シテ市門ニ載ケタ

ルコトアリ

○津職延暦十二年攝津守ヲ置テヨリ攝津職絶タリ

○上下ノ公使トハ勅使之

○九州ヲ筑紫ト云大宰府九州ヲ掌ル謂ル遠ノ都ト云大

宰府ノ下之

○化内ハ王化ノ及処ヲ云ナレハ日本ノ下之日本ノ下ヲ

化内ト称シタル処多シ

○防人兵士ヲヤリテ防人トスル之サキモリセキモリニ

訓之サキモリハ挾城守之セハキシ口ヲマモリテ居ル

故ニサキモリト云セキモリノ訓ハセキヲ守ルト云

之別義ナシセキモリノ訓可ナラン乎
防人司ヲ置タル寸ハ鎮守將軍ハナカリモナリ

△大國往古ハ日本百四十四ヶ国ニ分テ毎国置国造爾時ハ

國造ハ国ノカミ之皇德帝時國司ト云文武帝時守ト云

天武帝時置國司国造郡司

○大上中下国ノ一任スル人ノ階級ニテ定メタルモノ之

唐ニテハ郡多ク人多キヲ大國トスルトモ日本ニテハ

不然之

○過所万葉集ニ過所トカキテヒマナシト訓セリ關ニ居

テ往來ノ人ノ切手ヲ出ス故ニヒマナシト之是ヨリ轉

シテ過所ト書テ切手ノフニナル之其過ニハ其往來ノ

人ノ年ト生國ト荷物ノ数ト往ク道筋トヲカキテヤル

△外ナリ員大皇大妃一皇大妃一合ニ員之親王ノ女ト任ス

○陸奥出羽越後ハ蝦夷ニチカキ国ナレハ虜多キ之饗給

スル之此事日本逸史ト云書ニ見エタリ

○防守ハ防人ヲ云蕃客云々ハ蕃客大宰府へ往シトテ吹

流サレテ陸奥等へ行キタルヲ宰府へ送りヤルトアリ

彼様ノ力カ

○三關ハ云々伊勢鈴鹿美濃不破越前有乳是令ノ時分ノ

三關之令ハ有乳ヲ省テ逢坂ノ關ヲ入レテ三關ト云乎

ト云々

○依律關者尤々律不知

○關契關ヲ守ル人ニ木契ヲ賜シ之木契ハ木ニテシタル

割府之

○郡司孝德帝、時置ク郡司ハ其処ノ往人ヲ任スルナリ
 各員氏執任之尤式部省ノ判ニテ任スル之国司ハ京ヨ
 リ任ス
 ○大郡二十里以下十六里以上ヲ大郡トス七里八里ヲ中
 郡トス四里ヲ下郡トス二里ヲ小郡トス国ノ大小ハ任
 スル人ノ位ヲ以テ分テ郡ハ大小ヲ以テ合ツ之
 ○戒具其品數戸令ニ有リ
 ○令ハ脱篇ト云ハ關市令、醫疾令、倉庫令、此三篇之令寫本
 ○ニ有ル由珍昏之
 ○校尉二百人兵士ノ頭ヲ之旅師百人隊正五十人以上構
 ○習軍陣ヲスルヲ掌ル之
 △後宮

○妃二員「大皇大妃一」「皇大妃一」合二員之「親王ノ女ヲ任ス
 故四品ト云
 ○夫人三員大皇大夫一皇大夫人二人合一員之藤氏ノ女
 ヲ任ス
 ○嬪令ハ女御内命婦ノ類ニアタル
 △宮人職員勅旨式ハ中務省掌ル之
 ○婦女官ノサクワン之多クハ直氏ノ人ノ女任之
 ○氏別ニ女ヲ貢スル「天武帝八年八月ニ始ル
 ○雖非氏名ト云ハ直氏ニ非ストイエトモト云フ之
 ○尚侍令ハナシ典侍モナシ
 ○掌侍内侍ト云是ハ大政官ノ官人ト云ハ兵ノ「二十
 リ内藏ノ官人ト云ハ内藏允ニナルト同例之掌侍ハ

内侍ノセウナル故ニ内侍ト云之

○園司ヲミカトツカサト訓スルノ天子ノ御門ノカキアツカリナレハミカトツカサト云ニ

○閤門ハ右兵衛是ヲマモル宮門ハ

○殿司トノモリツカサ

○男官アルニ女官ヲ設ルノ諸寮諸司ハ昇殿スルノナ

ナ故ニ女官ヲ置之

○醬水ヲモイト訓スメシノエノト之ヲモエト云轉訓之今節會ノ寸醬ト云モノ食シノ湯ナルヨシ一説ニ粟ニ

テ醸シタル酢ハ五藏ヲ補益スルモノナレハ節會ノ寸

ニ食ニカケテ食スノアリト云ニ此時ハツクリミツト

訓スヘシ按ニモイノ説是之ニ買ハ

○膳ヲカミワテト訓スルノ往古ハ高貴ノ人工食物ヲ供

ルニハカシノ葉ニ盛りテ奉リシ之是ハ堅固ニテ常盤

ナルヲ祝シテナリ是義ニテ何ノ木ノ葉ニモリテモカ

○シワテ下云之令モ大嘗會新嘗會ニクボテヒラテト云

物アリカシワノ葉ニテツクリテ供物ヲ盛りテ神上リ

ナヘル之

○神前ニテ手ヲウツヲカシハテト云ハアヲカシキ子ノ

ミコトヨリ傳ルナリ是モアヲカシト云ヨリトキハナ

ルヲ祝シテカシハテト云之柏字ヲカシワト訓ス非之

柏ハヒノキノノカシハ手ノカシハ楮葉トカキテカ

シハトヨム之其樹葉昔ク常盤ナルモノ之

○參見朝會ノ朝會ノ寸役義ニ出ルヲ云今節會出御

ノ寸行列先之内侍二人劔ト璽トヲ持次ニ天子次ニ攝
政或ハ關白次ニ威義ノ命婦三人之内侍命婦五ツ衣ニ
裳唐衣ヲ差スル之

○散吏ハ役ナシノナ之

○勤仕ノ宣キヲ最ト云

△東宮主殿掃部ヲ合ス故ニ殿掃部ト云首ハ一人ノ職掌酒
掃ヨリ下ハ掃部ノ職之

△家令職員——家令以下至書吏為四等之家令ヲ家司ト云

○職事當官ヲ云吾官ノ一位ナレハは大政大臣之大政大

臣左大臣官ヲ稱セス位ヲ以テ云從三位内大臣ヲ置ク

寸ハ内大臣ニ當ル之不然公卿ニ當ル之望固クモ常盤

○假使通鑑集覽假王注ニ假兼攝之高貴ノ人ニ身雖モ附

上卷終

△神祇令

註周礼大宗伯文之叙無別ト云以下集解ノ文之可刪

○住吉攝州住吉郡

○出雲ノ國造ノ齊ノ神ハ一ツ之

○大神ヲハワト訓ス三輪ノ神之大穴貴尊之大黒天ト云

ハ則チ是之大倭國大神郡ニ在神ヲワトヨマセ酒ヲミ

ワトヨマセタルト萬葉集ニ見タリ

○葛木嶋ハマトシロヌシノカミ之

○出雲ノ大汝ノ神是モ大穴貴之

○天神ハ幣ヲ案ニ置ク地神ハ幣ヲ案上ニ置カス案下ニ

置ト云是壹伊安左衛門カ説之非之神祇官ヨリ

○上幣ハ天神地祇ニカキラス案上ニ置之

○文武紀ニ祈年ノ始リアリ類聚国史ニ祈年ノ祭リニア

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 神祇, 出雲, and 祈年.]

ツカル社ヲ定メラレタルトアリ延喜式ニ祈年マツリ
ノ神三千二百三十二坐トアリ祈年トハ風雨時五穀能
熟富饒ナルトヲ祈ルナリ月次祭ハ祈年ニテ祭リタル
ヲ又念ヲ入レテイヨク神工御頼申上ル也祈意ハ祈
年ト同事之

○近年祭事ヲコタリ或畧ス因テ異見十三ヶ條アリ本
朝文碎ニアリ

○狹井大穴貴ノ尊ノ荒御靈ヲマツル之アラミタマトハ
少キナリ云之ニコミタマトハ老年ヲ云之

○神衣衣ヲミワト云ハ身ニ添フト云ト之天照大神ノ衣
服ヲ奉ル祭リ之四月十四日也令伊勢ニテヲンゾフノ

△軒祭リト云是之

- 神服部縮ヲモテ、戸ヲ云カン身神之ハ縮絹ナリ
トトリト云ハ執行フ之故ニカンハトナリベト云今伊勢
ノ櫛田河ノ邊ニ織殿云アリ其処ニテ神衣ヲモル之是
昔シノカンハトナリベ之
- 參河赤引ノ神調ヲ系ト云ハ赤ハカ系之引ハ系ヲ任
タラルヲヒタト云神調ハ神領之神戸之神祇ノ賦戸之
三河國ノ赤引ノ神調系之延曆規式ニ見タリ
- 麻継ノ連麻継トカキテアラタヘトヨムサラシ布ノ一
之カンシ麻布ヲオリタリサラシタリスル連シ之
- 敷和衣ノ敷ハ枕全之マツタシト云義之祢美ノ詞之ニ
コタヘハ絹ノ一之タヘハハフタヘノタヘ之善縮ヲヲ
リテ神ニ供スト云ト之

- 部ハ下リ下訓スルハハハフタエハコロモナリハノ
字ニテキヌソフ之トリハトルト云フ之執字ナルベシ
- 廣頼大和國大和郡河合ノ社ハウガメノ神之
- 竜田大和國ヘグリ郡ニ在リ天ノ御柱ヲ國ノ御柱ヲ祭
ル之
- 井水王充論衡ニ井水ト云フアルヨシ井水ハ井雨ト
云註アリトナリ
- 三枝祭云ニ率川社ハ大和國添上郡ニアリ大賀浦之春
日ヨリ西二十丁ニアリ大賀氏執シ祭ル之三枝華ハ古
支紀ノ説ニハ山ユリノ華ナリ其処ヤマユリ多ケレハ
下リテ酒樽ヲ飾ルナリト云ニ顯昭ノ説ニカテスヲハ
キ也ト云ニカテスヲハキハ射干之是ニ花ノ形ナリ三ツ

- ニ分ルハモナレハナリ
- 風神モ大忌モ廣瀬龍田ナレハ讀寸三枝ヲ大忌ヨリ前
ニヨム之大忌風神ハ一神エヘニナラヘヨム之
- 月次六月ト十二月ト之毎月ノトニ非ヌ月次ニハ三百
四座ノ神ヲ祭ル月次モ五穀ヲ祈ル祭之庶人它神モ五
穀ヲ祈レハ如庶人云ト之
- 鎮火祭四方ハワニ堺達坂堺大江ノ堺山崎堺ナリ故ニ
鎮火祭ヲ四角四境ノ祭リトモ云之
- 祭ノ祝詞ハ延喜式ノ祝詞式ニミヘタリ
- 神嘗ハ九月十一日札幣ノ下之
- 相嘗ハ祭意大嘗會ト同丁之
大嘗會ハ新嘗會ト祭ノ意
同事之夜嘗ニハ七十一座ノ神ヲ祭ル伊弉神ハ七十一

○ 十種ノ神宝ハコシヲヘルモノ之神道ニテ十種祈禱
ノ傳アリ十種ノ祈禱ヲスレハ死人モ蘇生スルナト云
奇徳アリ

○ 依別式トハ本式ニ非サルナリ式処分ト云ト同夏之

○ 當司云々若忌部ノ人ナケレハ神祇官ノ内ニテ忌アノ
外ノ司ヲモ取用エト云ト之當司ハ神祇官ト見諸司ノ
神祇官中ノ諸司ト見ルナリ

○ 凡云々注謂即位云々大嘗會ノ寸天神地祇ヲ祭ルヤウ

○ 二ミユレトモ大嘗會ハ天照大神斗リ祭ル之天神地祇

○ ハ大嘗會ノ前ニ別ニ幣帛ヲ領クト之江次第大嘗會ノ

○ 処ニ見ハタリ

○ 國司行事ハ悠基主基國ノ守カ大嘗會ノ一

○ 式掌之因之大嘗會ノ後國司ノ賞ト云事アリ國司ノ賞

○ ハ大嘗會ノ一式主リタル恩賞褒美ヲ下サルニ

○ 散齋一月祭りヨリ前ヲ前齋ト云祭り後ヲ後祭りト云

○ 又祭後ヲ散齋トモ云前後ヲスヘテ散齋トモ云ナリ

○ 大幣トハ天神地祇ヲ祭ル調度禄ノ物ヲスヘテ

○ 云之註ニ明シ

○ 金ノ木桶金ノ夕、リ金薄ヲヲキタルヲゴケナリ女功

○ ノ器之天照大神ト女神エヘテ

○ 食完延曆二十四年ノ官符ニ若食完其クワタヒニ大統

○ ノ入用二十八種ヲ出サシムト云

○ 吊喪問病答五十若尔レトヲ奏問スレハ七十答ナリ

○ 穢トハ人ヲ鞭答シ佛事ヲ為之惡トハ上丞加淫ナリ

大祀月一中祀三小祀一天祀八大嘗會計リ之祈年祭月次
 祭 新嘗會 神嘗祭 鴨葵祭ハ中祀ナリ大忌祭 風
 神祭 鎮火祭 三枝祭 相嘗祭 鎮魂 鎮華 道饗
 園祭 韓神松ノ尾 平野 春日 大原野小祀之
 義倉 一位以下百姓マテヲ九等ニ分ツ上ノ上ハ二石
 下ノ下ハ一斗是ヲ義倉ニ入ル之神夏ノ入用ノアマリ
 ヲ因飢スル寸ハ困死スル者ニ義倉ノ粟ヲ發シ下サル
 ル故ニ是ヲ義倉ト云之用ナケレハイツマテモタクワ
 ハ置故ニ一名ヲ不動倉トモ云是義倉ノ粟ハイツマテ
 至不動ヲケトモ其外ノ租税ハ十束ニ付三束ノ利ヲ取
 テ下ハ借シタマワル之是ヲ出舉ト云之一束ハ白米ニ
 シテ五升之大嘗會

○以神代ハ古事トハ古ヨク云タテ、壽ヲノフル之
 ○壽詞昔ハサカキヲ執テ版ニツキテ奏問シタルナリ今
 ○大嘗會豊明節會ニ此壽詞ヲ上ルナリ今時依之藤波
 ○家二位ヲ賜リタル之壽詞ノ褒賞之
 ○忌部上神璽之天長四年忌部神璽ヲ奉ルナリ止
 メラル其ヨリ劍璽渡御ト云ナリアリ史生カ使ニナリテ
 院ノ御所ヨリ新帝ニ渡ス之
 ○神璽ノ丁鏡劍ノ二ツ之三ツハ此ニノ物神代ヨ
 リノ神璽ナリト云フ之令朝廷ニ三種アリ是一種ノ神
 璽ハ箱ニ入テ内々ハナニトモシレ又モノ之コシラヘ
 モノナルヨシ承ル此所ノ文章ヲ三種ト云ヘトモ二種
 ナラテナキ證據ニ引ク之

○凡六月十二月云々六月ハ今ノナコセノハラヘナリ十
二月ハ絶タリ

○東西文部令ノ時分前代ヨリ儒業ヲツキ來リタルモノ
文ノ姓ヲ賜ル其家都ノ東西ニ在レハ東西ノ文アト云
是ハ奈良ノ都ニテノナ良ノ都ニテノナ良ノ
都ニテハ東ハ大和西ハ河内之故ニ東西ヲ玄象之器ヲ
タクハフル者ハ徒罪一年

○依賊盜律為佞言人ハ遠流ト云々
○開涉ノ人主トハ假説ヲ以テ天子ノ御身ノトヲ云之

○相須得罪トハ觀玄象惑百姓ヲ至テ兩妻共相須テ罪ニ
ツケル之若一見一非ナレハ若上觀玄象云以下如註若
○上觀玄象云々ノ註ハ一是一非ナルモノ之

○餘ノ禁書トハ天文圖書 詭書 兵器 七曜曆 大乙

○雷公式等之

○奸ハ淫奸之和奸強奸ニツアリ

○昔ハ家人者譜代ニテ若主人可殺則殺之犯罪科ヲカ
セハ其主人カ殺或答也然レトモ僧ハ我家僧ニテモ氣
僂ニ取行フヲ不得之

○四面四果ト云テアリ四向ハ因之修行ノ内之四果アラ
ハレタル処

○四果トハ與流果一來ト不來ト 無生ト之
告牒トハ度牒 度緣ヲ云之還俗メ其上ニ度一度一此
方ハ取上ケ其上ニテ亦罪ニ行フヘキハ行之

○若犯姦盜者ハ三綱ニトモ凡僧ニテモ罪行フトハ一樣

預流和人
題道

一未生ト大
題道入タルニ

弘勤位
不來果為
衆生齊度
下生ノ



無生果

離三界

生別也

名之有除

淫般羅

漢果之

ナリ 詐稱得聖道云々文德實錄ニ齊衡元年秋七月僧伊蒲塞

カ麦アリ

○僧綱ハ僧正僧都律師ナリ

○中省除附トハ僧綱ノ牒ヲ附キ白丁ノ牒ニツケル之

○僧雖犯罪答フヘカラス故ニ人夫ニシテ使フ使イ様ノ

トアリ是ヲ若使ト云之

○喞請喞訖之此ヲ願フニ此ヲ以テセント其相應ノトア

リテ物ヲ與フヲト云然ルニ其意ナクマイナヒ

ヲ取リヤリヲスル之

○同居早幼一法曹至要ニ在リ同居シテ居早幼ノ者ガ

主人ノ物ヲトリツカフヲ云布五反盜ノハ答十反ニ

二十答五反ニ不足ハ不罪也

○徒衆衆僧之

○違令ノ罪法曹至要ニ有テ答罪五十

○罵辱ノ罪ハ百日答使ス

○知所部省云々賊盜律所部云々罪人罪減ニ三等云々

○有乞食者トハ有欲氣食者ナリ

○十七以上ハ課役ヲルハ本色ニ還ス之女無課役故不還

ナリ

○令口生ノ肉ハ雞子ノ類之生氣ヲ含ミテアルモノヲ云

○大ト答葱興渠ハアギ草阿ギ木アキニ種アリタナチ

ヲモ草阿魏ハコエシンド口木阿一ハ木ノヤニ之

シンド口ハ胡荽之

ナリ

- 禁五帝ハ陰事ヲ催スモノユヘ之梵網經ニ見エ
- 已發一再犯二更犯之犯罪一度ニ一ノ名目之辭非ス
- 承兩事之下トハ罪ヲ二度犯シタアトテト云一之一度犯シタ寸ハ其後置テ二度犯シタ上ヘテ云ナレハ承兩事之下ト云之
- 四度犯スモノハ若使二百日之百日ト云ハ三度犯スモノハ更百日ノ上ハ五十日加ヘテ百五十日ニナリ四度ノモノハ百日ノ上ハ百日故ニ二百日ニナル之又五十日加フレハ徒罪ニナルナリ
- 與三犯徒罪ニ三犯ニ徒與流律同シト云一之
- 若ニ罪以上云々名例律ニ若ニ罪以上トモニ發^{アハル}モノハソノ重キモノヲアケテ論スト云々

- 杖亦二百杖ヨリ上ハナシ故曰准杖法
- 須申論ハ不在此例言可直訟之不為之越訟之
- 道僧格擧音亦及傳戲者百日苦使共相取財物者ハ還俗以^テ終^ニ其^ノ罪^ノ重^キヲ^シテ^モノ^ニナ^ルナ^リ
- 黃椽ハウコ^ノ色^{ナル}モノ^ニシ^テハ^淡海^公自^註之本^註ト云
- 白字ニテ註スルハ淡海公自註之本註ト云
- 僧細ノ居ル処ヲ納処ト云今東西本願寺ニ納処衆ト云アリ是其遺之
- 牒同輩之札之
- 集解ハ橋直袴ノ作ト云或不然ト云
- 向柔高宗曰官司行事互觀類而多不尽公ナリ出五車韻
- 二罪之法名例律若犯二罪者擧一重者而行之

- 狡神之親近之
- 佐官偕ニテハ都誰那ニ當ル
- 徒ハ半年ヨリ三年マテアレハ徒年ト云ハ半年ニテモ一年ニテモ三年ニテモ之徒四年ナレハ則死ニ當ルユヘナリ
- 告牒ヲトリ返スカ徒一年ニアタル之故告牒ヲトリ返シテ徒一年ヲ許ス之
- 得度得度縁度牒ト去フニテ僧ニナルヲトカト云加役流三年遠処配スル之其配処ニテ公義ブシンヲサセル之故加役ト云之
- 居作兒日雇メフ之知ニツクノセト
- 減贖收贖減罪之

- 過矢疑罪ハ若使スル乎還俗スル乎ト云之
- 違令五十答違式四十答違令ハ至輕罪之其輕キサレ佛法ニ依ラサレハ重ハ勿論佛ニハカ、ラヌ之故舉輕明重ト云之
- 應神天皇元年晉武帝泰始六年ニ當ル儒應仁天皇寸渡ル應仁ヲ召サレテ儒書ヲ講セシメタルヲアリ
- 私度ハ官ニ申サス私ニ出家スルヲ云又關ヲ私ニ越タルヲモ私ト云是ハ一向別義之
- 知情トハ其私度冒名ホノ所為構ノ意ヲ知テ居ナカラ容止スル之
- 註若知已云之是モ知リナ口ヲ除貫ヤリタモアシキ之
- 本罪ハ浮世人ノ罪重ヲ從以上流死ナラハ其容止シタ

ル人ノ罪ヲ隨テ重キ之若知情容止シ與資錢而令之浮
逃者ノハ其罪減本罪之一ハスルヤ

○吏學指南稱首先言謂之造意

令俗人付云ハ令ノ勸化奉加ノ類之俗人ニ僧ノスル
ヲサセル之

○釋氏要覽梵網經ニ奴婢之類ハ不得出家トアリ依之曰
之令入道——故ニ與度トハ日本ニテト之

○焚身捨身ハ其身ヲ焚其身ヲ捨テ人ニ見セル之佛法戒
律ニモ焚臂モハハ罪ニ行フトアリ

△戸令

戸令ハ民戸百姓ノ所居之是ヨリ前三神祇僧尼ヲ置事
ハ百姓ノ爲ニ祈福拔災ヲナレハ戸令ノ前ニヲク之

○不滿十家者隸入大村言不滿十家者即る村之ト云ト乎

○五十戸為一里孝徳天皇ノ寸始非放唐制

○市宅一間ヲ間口五丈ニ裏行十丈ト定メコレヲ一門ト

云左京西北ヨリカソヘ右京ハ東北ヨリカソエコレヲ
八間ナラヘタルヲ一行ト云令ノ町宅片カワノ積リナ

リ此一行ヲ左京ハ西ヨリ右京ハ東ヨリカソヘ四ツナ
ラヘテ一町ナリ捨芥云一町ノ内有四行一行ノ内有ハ

門ト云是ヨリ一行ツノ裏ヲ合セテ中ニ道筋アリ令ノ
半町ツノ突抜之サテカクノコトキ一町ヲ四日結ノ

コトクニ四ツナラヘタルヲ一保ト云如此一保ト云四
日結ノ如クナラヘタルヲ一坊ト云又如此一坊ヲ西東

ニナラヘタルヲ一條ト云左京ハ南ヨリ右京ハ東ヨリ

カソフコレヲ云ハ一條ノ内ニ四坊十六保六十四町
アリ拾芥云一條ノ内有四坊一坊ノ内有十六町ノ内有
保ト云是之

畢竟ハ戸為行四行為町四町為保四保為坊四坊為條之

村在田野者為村。別置村正一人。掌同坊正唐開元令

縣下在郷ノ下有里ノ下有村

男十六ヨリ六十マテヲ正下ト云是唐制之日本ニテハ

廿以上ヲ正下ト云十八ヲ中男ト云正下ノ分ハ毎年絹

ヲ出ス謂課之課戸ハ正下ノ者家之

不課皇トハ貴尊故之八位以上ハ貴位之十六以下ハ惠

幼故之蔭子ハ尊恩故之老日貴老故之廢——ハ憐病故

之妻妾ハ自其家ヲ不至十リ者明ノ法ト云

○五世王ハ從五位下ヨリ申ス蔭位ハ五之切リナリ不課

賦役令三位以上父祖兄弟子孫及五位以上父子并免課

役

○黃男女如生為——

○帳籍ハ計帳戶籍之計帳記人數毎年改戶籍ハ記戶數六

年一改

○年秩年限之

○三等法丁老耆之

○丁出貢老出丁之半耆不出貢計帳ニ記丁役若干人老役

若干人耆役——ト

○寡妻妾ト云ハ寡妻或寡妾ト計帳ニ記ス之

○殘疾者ハ入次丁ノ内非不課餘皆不課之

- 折徑五保職掌ナルユヘニ追訪ヲツトムト云ヘトモ役ヲソキヘコサス
- 班六年一度之公分田地ヲトリヤリスル年也
- 異姓ノ男ヲヤシナヘハ其父徒一年。子答五十。收棄子三歳以下養雖異姓聽之
- 除附ハ三歳ニモ向フノ帳ニアリ其ヲ除テ此方ノ帳ニツケルナリ故除附ルト云
- 石城石脊ハ陸奥ノ内之今石城郡一郡ニナリテアル之
- イッ陸奥ニ合セタルノ不知
- 關國ト云ハ言切処ヨウカヒノ地ナレハ關國ト云非必關所乎又有關トモ云ニ關名未知
- 父祖子孫當同居安ニ自ラ為別藉者答一百。故ニ不合

- 分折ト云ハ罪科ノ外其罪科ノ外其罪科ノ外其罪科ノ外
- 本犯收斂法トハ本罪科犯ス後復收其人叙官ノ法アル
- 之選斂令十三
- 得其資蔭云々ハ〇得何得之言ハ不得之
- 戸ト云ハ一家惣稱之戸口ト云ハ一人ニカキルハ
- 當國処分其國ノ國司カサバク之
- 閉月十月ヨリ二月マテヲ云百姓ノヒマナル寸之
- 領送ノ此方ヨリヲクリヤルヲ云付領其レヲウケル國
- 没落没ハフキナカサレハアノ方ニテ被抄畧之落註ニ
- 明カ

- 不牒トハ本貫ノ方ヘハ問口ス先其浮逃ノ人ニ問之其
- 上ニテ様子次第ニテ本貫モツケウツトフル之
- ホ絶ハ三周六年ヨリ内ノモノ之三周六年ナレハ絶ツ
- 故之
- 計帳ハ一年ノ調庸ノ大帳之案ハ延喜民部省式ニ見夕
- 手實ハ本人ノ自身ニカキタル帳令ノ宗旨帳
- 要藉駟使其人ナケレハ此事カクルト云ホトノ干要ナ
- 允造計云々一章ハ良民ノ丁之
- 國承是ハ国司承取テ帳ニ落ス之
- 不改動年紀者依杖覓テ定メテ其様子ヲ帳ニ註ス其人

- ノ年ハ不可改者ノナレハ之故細不改
- 常色ハ年覓相應之
- 奸欺アルカトウタカテレハ若其年紀ホテ詐ルト訴訟
- スルトアレハ不限常日臨時ニ自定ムル之
- 比
- 庚午年ハ天智天皇ノ九年目ノ丁ノ大津ハ天智天
- ト宮之庚午ノ年大夏ノ年之日本紀ニミエ上古ノ姓系
- ヲ記シタルモノナレハ大事ノモノ之大切ナルモノヲ
- 惣テ庚午ノ年藉ト云例ヲ以テ云文之
- 雄朝津 | 允泰天皇ノ丁ノ大切ナルト云丁ガ此帝
- ヨリ始リタルヲシルス之○湯ノ底ニ泥ヲ入レテ泥ヲ
- トレト云テ令探之

○ 允應分者云々一條トカタミ分ノ仕様之父後分ツ寸ノ
 一之
 ○ 家人奴婢ハ畜産同前之因戸買賣ノ法ニテ分ツ之奴一
 人カ値六百文婢一人カ四百文之此積リニ准シテ奴婢
 ヲ分ツナリ家人モ同シ家人ノ値ノ一法曹至要アリ
 ○ 氏賤ハ同姓ノ家來之令云家ノ子之先代ヨリ同姓ノ一
 家ニテ調庸ヲ出ス民ニモアテス家人ヨリ格ノヨキ家
 來之其レハ氏ノ本家ユカユス之用賣買ノ法ニテ本家
 エカヘス之故ニ注ニ氏賤不在此限
 ○ 功田ハテカラニヨリテ田ヲ賜テタルナリ功田ハ戸主
 渡ヌ之功封トテ五位以上ノモノ功アリテ封戸ヲ賜リ
 タルヲ云

○ 入男女其功田ノ一カカタミケノ内ニハ不以其家ト男
 子女子ニ分テ入ル也
 ○ 惣計家人奴婢モ田宅資奴モ惣計シテ金銀ナヲシテ分
 ツ之故ニ作法ト云
 ○ 嫡母トハ妾ノ子ヨリ稱シタルモノ之故ニ注ニ異母ノ
 男女トイフ早竟異母ノ男女カラ云タモノナリト云フ
 ○ ヲ知ラレシ為ニ注ニ母トイフ始ニ庶子トイフ
 ○ 妻家所得ハ母ノ里ヨリ齊シ來ル道具之是ハ分物ノ内
 エハ入レヌナリ
 ○ 妾ハ女子ノ分ニ同シトハ言ハ半分分ツ之
 ○ 姉妹ノ子ハ外孫ニナレハ不分己ニ他ハ嫁タル者ノ子
 ナレハ之

○父、妻妾

○母子異賤云々ハ先分ク子ハ面ニト當リ前シレ又ユヘ

ニ分ツハ分テトモ母子ハ分テノチ又一ツニスル之

須與其子

○其於母者云々假令子五人アリ五人ナガラ同胞ナレハ

適庶ノ差別ハナシ異母ナル故ニ適庶ノ別チアリ令母

同ナレハ均分之

○養子亦同兄弟ノ子ヲ養子シタルナリ異姓ハ養子スル

トナラス

○女分同上

○一子夫ノ兄弟ノ適子分ト云ト之

○先田祖父母云々ハ若嫁女ノ寸ハ一家一門相談上

○新ヤ判判到スル之而為婚王之身入ル並親坐云々是同

○本犯徒罪者令赦ニテテ徒役ヲ勤ス子トモ本徒ヲ犯

シタルハ女家欲離之

○謂雖不得賤亦云々謂有盜竊之意之

○與作棄云棄之

○尊屬法曹至要ニ有リ品下有罰而ハ有罰ニテ受刑

○益指ユビ判之云々

○尊屬一等ノ尊ハ夫ノ父母二等ノ尊ハ伯叔父姑兄弟之

○見在ノ賤ハ嫁寸ヲ云去寸ノ見在ニ非ス

○將婢有子夫若婢ヲ妾トメテ子アリトモ還ス之

○傷 毆キヤブリ血ノ出ルヲマツテ為傷

○義絶罪ニ百答也

- 義絶ハ妻ノ方ヘ斗リカ、リタルト今ハ兄弟等ニス
ヘテ義絶ト云詞ヲ用ルハ非ナルヨリ徂來、説アリト
云々
- 主張郡司ノ佐官
- 景迹人之所道行之善惡大跡ヲ云之
- 祝承ハ詞候ト云ノ意之
- 依律受供云々新律之不可入驛而入者笞二十趣受供給
者笞五十ト云々
- 此三色云々ハ輕重ハ罪ノ輕重之卑者貴者ニ嫁スレハ
卑者ノ罪重
- 還厥為賤者之按還復之如此見ルベキカ
- 為官戸律至七十六以上則還為良人反逆嫁坐云々義同

- 之田ハ六年ニ一畝ヤ、ヤハニ畝モ、マヤハ三畝モ、
- 未滿トハ未滿從良之年限之家人依律云々謂家人為嫁
坐
- 奴婢之例律絶ヘタレハ返シス
- 田令戸口アルハ田十ケレハ十ラ又モ、ユハ次之之
- 段ノ定々ハ孝徳天皇大和二年ノ定之
- 歩令ノ定五尺之格ニハ六尺之
- 一町ニテ五百束ト云ハ以上田云之中田下田ニテ千ガ
フ之准之ヲ敘降スベシ共十分ノ一ヲ上ハ年貢ニ上ル
ナリ
- 脚カ家ニ運賃ヲ出ス之
- 良賤トモニ人別給之三歳ヨリ以下ハ不給六歳ヨリ口

- 分里タマフ之
- 二段七百二十步三分ノ一ヲケンスレハ四百八十歩之
- 親王ニテ品田 位田トモニ年貢出ル之一段ニテ二束
- 二把之外位ノモノハ内位ニ中ヲ減シテ貢之 神龜五年
- 三月廿八日定メ之職田ニモ年貢出ル之
- 五位ニナルヲ榮爵ト云位田ハ口分田ノ外之職田モ位
- 田口分田ノ外ニ亦絡ル之
- 以理解官スレハ喪ナトニヨリテ解官スル之
- 功田謂永業田之令ニテハ年貢ヲ出ス交贖式ニテハ祖
- 不出ト云コ
- 謀叛大逆惡逆大不敬大不孝大不道不義謀反是ハ逆之
- 班田ハ六年ニ一度ツ、アル之是ヲマタストリカヘス

- 民向前ニ祖ヲ出ス之 免所記之官之 解官ノ免官 除名 免所。居官ノ官當 官ヲツミテ之 免之 供具
- 解官ノモノモ三年タテバ復住スル之
- 口分ノ例ハ班田ノ寸ニトリカヘス之賜田ハ別勅ニテ
- 賜リタル田地之
- 口分賜田ノトリ上クベキアレハ班田ノ年ヲマツテ取
- 上ケ官位田多クシテ口分少クマテ受田モノ、方ハ廻
- シ給ス之トリ上ケタル田地ヲ廻シ給フ之業アレハ官
- ニヲサムル之
- 五百束内ニテ百束ヲ地子トシテ出ス之残り四百束ノ
- 作りテカトル之公田ヲ地子田トモ云
- 口分八十年ニメ收亦其上ヘ二十年シテ賜位田ヲ收メ

- 還ス故前後共二十年之
- 任マ、ニ、一、夏ハ一年ニテモ二年ニテモ気候ニ賃祖スルナリ人ニ賣ルハ一年ヲ為限之
- 侵食ハ水ニ侵サレテ食ヒサキタルヤウニナリタルヲ云
- 為一段退下ハ相改メテ舊授リシ通りノ間數ニ不違樣ニシテ返ス之
- 先有零其受ケシ寸ヨリ有零者ハヤハリ零——ニテ返ス之
- 二月三十日ハ七年目ノ二月三十日之故ニ二年ニカ、ルナリ
- 還主還官ハ絶テ還シヲハルニ非ス其年限ノ通り先還

- △ 租シテ復タ借り佃ル之
- 別得已耕云ニハ未論決、内之然レトモ荒レテ不可置耕種スルナリ
- 改判ハ已論決シタル上ハ下之判ハ當司ノ判之
- 賣買シタル田地ナレハ競論テキル之因テ其論争アル
- 年種タルモノハ下ナラヘシテモ苗稻ハトル之賣タルモノハ不耕種モ其當年ノ直トル之
- 公廨ハヤクヤシキ之在外諸司職分田ハ此云廨ニ附タル田地之不税田之
- 郡司ノ職分田ハ税ヲ出ス之公廨ニアラサレハ之令ニ
- 巴京ノ諸察諸司ノ職分田ハナシ是ハ史ノ闕文ナルヘシト先輩モ云ハレタリトナリ察司ニ職分ナクテハカ

ナフマシキト之

○驛田ハ不稅田之

○交代ハ四年二度ツ、ノ交代之五月已後ニ交代スレハ

其職分田ヲ前ノ人ニ絡ハル之四月以前ニ交代スレハ

後新三代人ノ人ニ給ル之故ニ五月以後ニ代ル人ハ糧食ナキユ

ヘニ及ヨリ糧ヲタマワル之

○酬其功直ルハ前人其田地ノコシテヘテチキタル

ユヘニ其功直ヲ酬ユル之

○閑月正二三十一十二月之要月ハ四五六七八九月ヲ

云

○准米下其田地ヨリ出ル處ノ米ノ多少准ヌル之

△賦役令百姓ニ田ヲ賜ル寸ハ賦役アルヘケレハ田令次

○縝ハフタヘツタクヒ絶アフトキヌトモ

○望陀上總ノ國ボフ田郡ヨリ出ルヌノ之

○松魚カツモ然トモ日本ニテハ堅魚トカク之

○螺ハシリノマカリタル貝ノ物稱ナレトモ今ハニシト

訓スル之事螺ト云ガニシノ漢名之

○蚌トフカヒノト之ハマクリハ蛤ノ字之トフカヒトハ

カラスカヒノナガキヲ云

○楚割口ウシント云テ供御ニ用ユソハリノト之鮭ニテ

ツクルヲ鮭ノ楚割ト云今ノ黃身ノフカサメホニテツ

クル之フカノソワリサメノソワリナド云ベシ

○海藻ト云寸ハホダワラ之ナノリソトモ云

○アラメ別ニ漢名アリ

○シル別ニ漢名アリ海松ハ別物ニ

○疑海菜未詳可考

○暗キタヒ一説ニナマヒノト云ト云

○未海海藻未詳神樂哥ニカゲメト云歌アリ

○アサツキハ蘭葱ニ日本ニテハ嶋蒜ト云

○貽貝イガヒト云貝アリ黒色ノモノ之バヒノヤウナル

○モノ之タニシホドアルモノ

○白貝未詳

○从打其製未知

○貽貝ノシリウテハ貝ノシリニ穴ヲアケテ貝殻ナガラ

○塩ニ漬タルヲ云

○シタ、ミハ今云セ、ガヒ之セ、ガヒノ漢名アリ

○甲羸カヒトフタ之合セ香リ貝ニ入レモノト云

○甲棘ヲウユ之漢名ハ海栗ト云海膽ト云

○羊魚一年切ノ魚ナレハト云又羊始ニ食スル魚ナ

レハト云ニ説之漢名ハ細鱗魚トモ香魚トモ云月記

魚トモ云

○鱈魚煎汁カツヲフニトリ之煮堅魚ハナマブシ乎

○次丁ハ病人老人サト之故二人ミテ正丁一人前ヲ出ス

○中男ハ十六ヨリサマテ之四人シテ正丁一人前ヲ出ス

○紫 紫草ノ獨生長七八寸アルクサ之染紫モノ之

○ツルムヲサキハ落葵ト云毒草之

○東木綿ハンマノト之木ノ綿之今ノ綿ハ文録年中ニ渡

リタルモノ之此時分ニハナシ

- 銖十ヲ兩トス度量考ニ銖兩ノ一クワシ
- 蔡カラムシトモケムシトモ云今ハ文獻年中ニ載
- 黒葛ハ坊己之ツ、ヲカヅテ之
- 曼椒犬山椒ノ油之延喜式ニ在リシレ又物ニシテアレ
- トモ犬山セウノ一之
- 金流コシアブラ延喜式ニアリ大秘物之丁子油之
- 堅魚煎汁重出ス可考
- 青土能登國ヨリ出丹青ノ貝ニ入ルモノ
- 椽トシタリノヘタ之
- 篋柳ハコヤナギト云柳アリヤナギヨリ食スル柳之
- 漢名白楊ト云
- 課物ヲ納ルハ其所ノ名産ヲ納ルヘシ故ニ儼ト羅一ヲ

- イヤシムヘシ
- 水式身物出國司下渡國司舟ヲ出サ、ル前ナラハ其課
- 物ハ其死者ノ家ニ下サ、ル之然可出日限ト道程ト合
- 考テ舟ヲ出スヘキ日限ナレハ未物舟ヨリ不出トモ不
- 免之不發間ハ舟ヲ出サ又間也
- 若不出役則收庸
- 為一常唐八尺為一丈六尺為常令一丈三尺ト云可考
- 三代實録ニ貫屬姓名 書様出ル
- 女丁諸國ヨリ九十人出九十人以上ハ不可出之志麻飛
- 驛陸奥出羽佐渡隱岐太宰府ハ不出女丁
- 長上ニモ非ス諸國ヨリ上ル貢人ノ類ヲ雜色ト云諸司
- 長上ニナルモノ

- 品部ハ良人ヲトリテ諸司ヲ雜色ニシテ使フモノ之
- 義倉謂不動倉之
- 至計職ハ一位五石二位四石三位三石四位二石内五位一名外五位五斗出スト云テ其次ニ上クノ戸ニ二石上中戸——去
- 戸粟ハモシノトニ非スヤハリアワノトニアワハ久リ積畜テ虫入ラヌモノユヘナリ
- 土毛云ニ應用ハ公義ノ入用不時ノ入用之
- 劉段胃雪獲芥辛威五代同變郭携七世共居出处可考不
- 大稅ハ正稅之梁穀ハ年中雜用ホ可出日新ハ並野柳念
- 封戸令モ准后宣下テ因ノ寸官符ニ賜一千戸ナト是居無實ナレトモ故實

- 戸ニ限リアリ正丁四人中男一人アルヲ一戸トス年貢四十束又定メ之此積リヲ以テ千戸或二千戸封ル之
- 封戸ノ内ヨリモ田稅ハ官ニ入ル之
- 一世免ヲ蠲ト云二年三年ヲ免ト云蠲符ハ官符之
- 徵ハタルハセメハタルナト云テコノ方ヘ取心之メスノ意之
- 告朔上日ノ日數ヲ月朔ニ奏問スルヲ告——ト云公夏根源ニ見ユ
- 瓦蓋三代實錄憐民勞為瓦屋ト云ニ是始メ乎
- 葉丁皆出役故ニ閑月ニテモ要月ノヤウニテ家貧シ單身ノ者ハ役ニ不出故要月ニテモ閑月同前之
- 露役ハ雨ノアタラヌ処ニテ役ヲスルヲ云之

- 蕪スモトリフクベ之然レトモコ、ハヒロク見ルベシ
- 柏ヒノキナレドモコニテハ楮葉等ノ下之
- 於幾内云コヤハリ幾内ノ國へ科セテ出サシムル之
- 考殿銅二十斤ヲ一殿ト云殿課代ヲ出サシムルノ之殿
ヲクルノ義アレハ考ニヲクル、イ之
- 吉備脱羅^{一部}形可考
- 出舉縮カシアスベテアル縮之令ノ上納之
- 餘丁輪米云コ註謂若遭至霜水旱云コ上ノ十五丁目ハ
裏ト引合セテ見ルヘシ
- 匠丁ガ衛士防人ニモナクテ出ツル之
- 黠一使之
- 斐陀國毎年匠丁一百人ヲ貢ス其反抄准諸國調庸之例

延喜式ニ見ユ見ユ見ユ調庸^力口^日近^事力^力力^力

見ユ^{孟子}暖衣飽食逸居無教禽獸^ニ力^力力^力力^力

學令^{孟子}暖衣飽食逸居無教禽獸^ニ力^力力^力力^力

音博ノ下延曆十七年格曰允學生年十六以下欲着明經

先毛侍之音ヲヨマシム吏學ニツカント欲ル者ハ先尔

雅父選ノ音ヲヨマシム諸讀書出身ハ皆漢書ニ讀マシ

ム吳音ヲ用ル下ナカレ與奉時車^心國^許邊^山之^際於

史ト云姓ヲ賜フ之

大中小經ハ卷數ノ多小ニテ別ケタルモノ之

帖トハ文學ノ上ヘカミヲハリ其レヲ悖讀スユシムル

諸家要指算法肇於棘首而詳於高周且今之所傳九章者

是之九章一曰方田以御田疇畛域二曰粟米以御文買變
易三曰分以御物價貴賤四曰女廣以御積帛方圖五曰
商功以御功程積實六曰均輸以御遠近勞費七曰盈明以
御隱集互見八曰方程以御錯操正負九曰勾股以御高深
廣遠

又曰有重表之法以日力與表相準以之測塔影以之測海
鳴以之測日影

陣希韻事言要玄

今官文書一至十字皆用同音畫多者以防詐偽其中一二
音義俱同肆伍陸玖拾音同義異參字字各所無蓋以參字
徵變之古語勿二以二勿參以三漢志參合橫一則參亦可
作三之榮亦無字按東晉賦朝列九曰折之奉夕宿參娥之

房所古七字大玄七政亦作叅政不作榮字捌字見急就章

農器也

○周髀經云周公問於殷高曰寡人聞子太夫善數因作周髀

數經今人皆莫通其術

○孫子五曹云之可考

○群書拾唾名數夕

○昆增訂吳昭明校閱

○事物紀原名數書

△選敘令學問ノヨシヲ考ニ叙スル故ニ

○考フル一年之四前四十二最ヲ考ト云

○五位以上叙受ナルニ因テ擬階奏ノ寸ニ叙ス六位以下ハ

奏受判受ナルニ因テ擬階奏ノ寸ニ叙ス是ハ擬階ノ奏

- ノ夕メニ考トテ定ル之擬階ノ奏ノ下公事根源ニ見タリ
- 同考ハ下課ヲ定ルモ長官カ定レハナリ
- 從一高官トハ高官ノ方ノ勤カタヲ書キテ送ル之
- 選文ハ可授位階人ハカリヲ書キタル文之不須二官共送下ハ高官ノ方ニ選文ヲ書キテ送ル之
- 考文ハ一年ノ功課行能ヲ考ヘテ其ヲ書上ル文之
- 教授正月七日叙ス謂叙位ノ寸之
- 奏授判授四月之謂擬階ノ奏ノ寸之
- 教授ハ今ハ御推任之高田（室曆廿年ニ始ル）判授ト云カ
- 判授ハ今ハ武官ノ府生番長ハ左右大將ノ判授ト云カ

- 降目ニ勅授ハ黃紙ニ居奏授ハ白紙ニテ書シ口ニ大政官證奏ト書ク之
- 云々家令等判任式アリ判ト之○文學親王家
- 才之ト二人ト判補ハ判任ハ大政官ヨリ奏問セヌ式部判授スル之判補ハ一向大政官ハ申サヌ式アリ簡ハカリニテ補スルヲ云
- 舍人吏生トハ官ニアラス職ナレハ補ト云之官ニ任ト云職ニ補ト云之
- 考簿ハ所謂ル考文之
- 考文ハトカク正官ノ方ニテ取ル
- 郡司軍穀ハ名アリテ位階ナキモノ之依之不入此条之
- 職事トハ當官ノ下ヲ總テ職事ト云今中ノ一例之

- 行字ハ位署書ノ寸用ルノ之
- 無位ノ人任云ニ職事官之令ノ散官之位ハナケレトモ
- 官高キユヘニ守カク
- 任用トハ罪ニヲセルノナルヲ云
- 此司ハタトハ主計ト主税トノ如シ若主計死免スル
- トキハ主税攝之
- 一考一年ナレハ六考六年之五位以上ハ教授ユヘニ毎
- 考ハ不進也只考ヲカソフルナリ一品以下ト註スルニ
- 考ヲカソヘ禄ヲタマワル為ニ註ルナリ
- 六考ハ長上ハ官六考ヲ以テ定ル之慶雲三年格ニ長上
- 番上ハ考名ニ考ヲ減ス長上ヲ四考トシ番上ヲ六考ト
- 註目云時延喜式者格ヲ文ヲ用ユト云ニ令ノ長上六考

- 六考ハ初基ハ階云
- コレヲ初基ハ階云
- 六考ノ内中上一階上下一階合テ三階之是ニ初基ノ階
- ヲ入レテ四階之何トモ初基ノ階ヲ入レテ見ルヘシ初
- 基ハ階ハ初ニ見タマハナリテアレハナリ
- 上ニ毎ニ考進ニ階六考ニテ二六十二階之ソレニ
- 基階ヲ入レテ十三階之
- 初位ハ判授ナレハ四階ヲスメテ八任以上ニセ子ハ
- 奏スルナラソレユヘニ正初位下ハ同ク上一ツ大
- 初位下一ツ大初位上一ツ從ハ位下一ツ令ノ四階トシ
- テ奏スル之

- 諸官トモニ一任四ノ年切リ之
- 省員官ノ數ヲヘラスル寸ハ數外省カ子ハナラヌ之
- 充待ハ侍ニアテラル之
- 患解ハ本人病ヲ百四十日ニミツレハ官ヲ免スル之
- 廢官上ニヨリ官ヲ廢スル之
- 中ニ以上ヲニ考ト云ニ中下以下ヲ下考ト云中ニ以上ハ位階ヲ終リ中下以下ハ罰セラル之
- 分番ハ前官之分番ヲ者ハ經七考定之長上ハ六考之
- 分番ノ者七考ヲ經テ長上ニナル丁ハ長上ハ六考ナレハ一考餘ル是ヲ餘考トタル之
- 使番考滿ノ限リ外一年ヲ還ルハ遲留ノ以テナレハ故ニ下ニ弟ト云然レトモ未其善惡ヲ尽シ知ラサ

- 准折ノア下ハドコテモ中ニ考ニナル之
- 本註下上ハ多クハ私罪ナレトモ考ヲアケル下上ハ私罪ニ非ル下上ハ私罪ノ下上ナレハ直ニ考ヲアケヌメ
- 無關散位ナリ關有リオ——當ルハ則見官ニナル之
- 分番ハ上中下三等アリ長上ハ中上下九等アル之
- 申役不得理事ハ申上ケテ其返夏マナテ居ル内モハヤ役ハツトメヌ之
- 以不以格別ノ恩賞ニテモタマワル之常例ノ通りニハセヌ之位記多キハ令マテ經タル位——多キ之是ヲ内

位ニスレハ一枚ニスルナリ
 ○最ハ四十二才ヲトス最ノアシキヲ殿トス
 ○留省ノ弟トハ秀才明經ノ上上中下ノ考ヲ得タルモノ
 ハ直ニ位ニ叙スル之其下中上ノ考ヲ得タル者ハ式部
 省ニ留メテキテ來年ノセンヲマツテ位ニ叙ス是ヲ
 下云之
 ○追之下ハ其帳内資人ヲトリカヘス之
 ○當免ハ官當免官之罪ノ名目之
 ○夕下ハハ四位ノ者勲一等ヲ帶スルテハ子ハ正七位下
 ○^{位從六上}夕下トモ三位ノ適子一等ヲ下ク臣六位下ニ叙スノ類
 ○ヲ依當勲階云ニト云勲位ノ方ノ相當ノ位ノ者ノ子ノ
 隱位ニ一等下ス叙スル之

△古ハ私ニ刪ヲ立ルヲナテス皆上ヨリ立ル之○罰不ハ
 ○刪ノ字ノ出所ハカリニ引キタル之律ノ文之
 ○民宗日本記ニハ民上ト云之
 ○所官一ニヨテ又真大政官ニ申スナリ八省卿諸司諸
 寮カニ同シ
 ○長官次官ヲ校考之官人ト云又注考之官人トモ云
 ○官當トハ罪ニ官ヲアテ、官ヲ免シテ罪ヲノカル、之
 ○累從下ハ二官高早アルモノ二官トモニ考アルハ早官
 ノ方ノ考ヲ高官ヘ一ツニ合メ考過ヲ定ムル之
 ○殿ハ過タイヲトリテ考ヲトサル、ヲ云
 ○卓氏藻林朝集使事アリ○朝集使ハ朝集堂ニ止ルナリ
 ○五流加從流三年於流所猶役ス反逆縁坐流子孫犯過失

○流子孫過教祖父母之不孝流會教猶流呪文モ
○赦非常放大赦曲赦三赦ト云常赦又赦之

臨時赦

天下

一州一國

文武天皇天寶四年五月ニ制アリ

○朝野群載寫本

△祿令

○鐵延或二連イカ

△宮衛令

○六位以下ヲ門藉ト云出入スル門ハカリニハル之五位
以上ヲ通藉ト云每門之ヲハル之

○宮門十二門使門ハタタリノヤウナルモノ

○院ハクルハナリ的中院◎マルヲ内院外ト書中

△古云エタシユタシナト云モ智之

○宮長ハ成一刻ヨリ亥ト一刻マテハ左近衛廻リ亥ノ二

刻ヨリ子ノ二刻マテ右近廻ル之八省院是之禁中ハ亦

別左近亥ノ一刻ヨリ子ノ二刻を右近カ母一刻ヨリ寅

ノ四刻マテ廻ル之

○鹵簿鹵盈之云天子幸道塩ヲ以テキヨクルエト云

○云一流和歌

○徵ハタタシト訓スメストモ訓スマトワスフニモナ

○ル之コシラヘテトスアンハイ之

△制制令

○唐ヲテ天子ヲ湏明糸美御徳ト云文苑榮華ニ見エ

○百肖舉哀山陵國忌アレハ天皇ト云故今遺詔奏アリ以

○倍之因テ院ト云

- 今日螽、日御殿ヲコモニテツ、ム之コモツ、ミト云
- 今尋常版位宣命版位計リ之古ハ百官
- 適母適子ハハ、乎
- 繼母我父ノ妻ナリ
- 五親考 東屋ノ作
- 宝龜元年皇太子始テ礼服ヲツク
- 別式礼服冠ノ事延喜式式部式ニ見ユ
- 高鼻ト履ハ今僧ノ着之上ヘニ糸ニテ紋ヲムスセテアルモノ之鳥皮ノケツハ其ムスセタルモンヲケタルヲ云
- 婦人ノ礼服ハ今夕ヘテナシ名目ハカ別尺ノ禁中ハ亦
- 四位以下五位以上ノ妻ヲ外命婦ハ式位滿頭ト云クニ

- 無夫其身ニ位階アルヲ内命婦ト云
 - 六位以下義髻ト云五位以上天髻ト云礼服ニハ宝髻ト云皆同名之
 - 衽襦ハカタアテ之行幸ノ時加輿丁ノカタニアテ、アルモノナリ大平采ノ舞ニカケテ舞ヲモノナリ
 - 位襖馬トフノ襷束之闕腋ノヤウナルモノ之テツボウツテニシタテキル之色ニ襖ナリ
 - 未額ハハチマキニカフムリニ未額ヲツケルト加茂ノ競馬之鳥帽子ニマツカフヲツケルトハ賴政ノ能之
 - 袋トハ魚袋ノ袋ニ
- △公式令
- 詔曆今ノ官命之續日本紀ニ宣命字ナシシ丁詔曆ト云

○今宣命ハ和文ニテ各詔書各ハ漢文ニテ各ス後世ノ下
 之古ハ統テ詔ト云シ之
 ○位記續日本記聖武記ニ大同年中衣服公文隨唐制位記
 ハ隨漢制ト云ニテ時極之令ノ位記ハ唐制ノ制之故今
 ノ位記トハ制合サル之
 ○現神明神ミナアラミカミト訓ス見在之神ノ天子ノ御
 事之
 ○日本ヤマトノ訓ス古今傳ニ山跡之正訓ハ由シ其外イ
 口ノハ秘訓アリト云是傳之
 ○天皇スベラミコト、訓ス統ル御事之又皇ト訓ス統君
 十
 ○御畫唐^{カラ}ニテ畫書ト云是内命書也

○詔書内記作書ノ遣中務卿中務大少輔着々奏ス於是天
 子御畫ス而給中務中務寫^テ以本^テ御^テ有留^メテ為案以
 其寫者遣^テ兵官^ト令^テ外記^ト校定^シ之而^テ各^ノ大政官以下百官
 大政官以下自^テ各^ノ其姓名遣^テ大納言^ト復奏於是天子亦
 御^テ畫可寫官亦寫之留以為案以其寫渡^テ兵官訖作^テ官符副
 詔^ト各^ノ施行左京諸司ニハ則^テ副^ト官^ト將行下在外諸司者則官
 符^ト騰寫^シ副^ト其寫詔書施行^ス
 ○今改關ニ補セラル寸詔勅侍賜ル又元年ヲ改ル寸ハ詔
 各斗之人勅^ト各斗^リ寸^ヲモアル^ハ其^ノ寸^ハ其^ノ寸^ハ其^ノ寸^ハ
 ○飛驒式^ト下式^トハ大政官ヨリ諸國^ト下^スハヤ^クヒ^ク之則
 勅封^ス
 ○鈴ニテ馬ヲ出傳符ニテ人夫ヲ出ス之故鈴封ヲソヘル

- ナリ
- 今着陣、時陳座ニテ所讀吉唇ハ則解文之國解之
- 省ヨリ官へ上ス故ニ省ノ役人皆署寮准之
- 移ハ同輩エノ往返ノ文之康富記ニ案文アリ牒亦同列ノ文之
- 若有囚獄於他司者對問則雖不相管直牒追攝スル之
- 為解向上へキホトノモ限ハ上官下ニ向付皆符日ツクリテ下ス之其司トナリヤ別之
- 告身日本為位記可考
- 口宣ハ毎ヨリ大内記ハ遣リ大内記留口宣為安作位記與其人ノ官ナレハ大外記ハ遣リ大内記宣旨ヲ認取行其人ニ下サレ、之中答御中答大少輔首々奉々奉是天

計會式下年中所ノ下沼勅書カカ合テ若干
 過所ハ關守之ヲヒマナシト訓ス
 馬一日七十里 步行五十里 車 三十里五丁一里乎
 皇妣以上者雖不登帝位イ居夫人以上位平出之
 大社陵號以下當關字者亦入國忌可廢務者則准上條可
 平出不然皆關字耳
 天子以下之印皆以銅造ル内印書文ニ天皇之重ト外印
 大政官印所諸寮諸司印文或治部省印諸國之印文或和
 泉之印
 鈴封出馬傳封出人古者摺其封敷出人馬之
 魚符ニハ官姓、名ヲホリツケタルモノ之魚符、袋ヲ
 魚袋ト云五位以上銀之五位以上金之今ハ節會ノ寸ハ

カリナヲテハ佩ニスシカモ制モ畧シテカタバカリニ
テ姓名モホリツケサルニ
駿相兩州間坂令ノ何処之
信上間ノ坂亦可考
兩越間ノ河
繫中令馳道ト云ハ南門ノ内ノ紫震殿ノ正面ノ筋ヲ云
ナリ
万呂ハ男子ノ道稱某ニト云ト同ニ宿称ハカバ子之本
文ニ後姓云寸ハ古ハ姓トカバ子ト通ス止見ハタリ先
名ニストハ某ヲ
サキニスト云之一人ノ名ニカキテサル話之
三十六丁ハ田地ノ積リヨリ云一里之

厩牧令

○牧ノ処名見延喜式

假寧令

○花鳥餘情乎岷江入楚カニ服中ニ餘服ヲ吉服ヲ着ル

○謂ルナシト云トアルヨシ

○土師宿称羊位高進者為大連其次ヲ為小連コノ大連小

連カ方相ニ十九之

挿亡令

○除前

獄令

○近衛 番長之頭ヲ番頭ト云

○衛府長雜色長ト云

或汲井家説ニ番从ハ雜色長之ト云可考

○御徳日 裏日也

○獄令ハ丁ヲ特配流ノ註可考

○官當条

免所居官 正七位上見當 正七位下見免 從七位上已下歷任任記 從七位下 上八位上

正八、下 從八、上 從八、下 大初位上 大初、下

少初位上 少初、下

正七位上降至 正七位下見免 從七、上歷任任記 從七、下 正八、上

正八ノ下下 從八位上 從八位下 大初位上 大初位下

少初位上 少初位下 令註アリ

○流從祖父母以上喪新遭ヲ寸掌ニナリ是ハ在禁ノモノ

ニテ日天ケルハナリ上ニ條ヲ終在役ノモノニテカル
シ故ニ五十日之ニナリハナリ終ニ云々

△雜令

○北方緋黍北方水色黒故ニ黒黍由轉律法ニ云云一説

○聖徳太子 鷹量日本ノハカリハシマリ之俗説贅兵ニ

見エ

○ 纒綯縁日ノ御座ノ御シト子綯ノ縁之

北方秬黍一稔二米者

東涯先生云唐令ニモ此文アリトアリ秬黍ハク口

キキニ之此法本漢律歷志ヨリ出律歷志ニ以子穀秬黍

中ハ一黍ノ廣度之トアリ然ルニ北方ト云フハ何ニヨ

リテ云フヲシテス此レハ子穀ト云字ノ見ヤウチカヒ

タルユヘ之師子註子穀猶言子穀五谷ノ子ト云フ之夕

夕杜氏通典ノ内ニ律歷志ヲ擧テ子ト北方ト云四字

ノ分註アリ此レハ子ト云字ヲ子且ノ子ト見タル之子

ハ北方ナルニヨリテ唐令ニ北方ノ秬黍ヲ用ニ本朝令

ニモ此ニ因リ玉フト見ヘタリ此事何レノ書ニモ説ヲ

アラハサス祖杜氏通典ニ註アルハモ口ツカシ分註ノ

ミナリ

○ 雜令註ウミナリ謂交關懸違受奇輒用之類可考

